

参考資料

関連データ集

消費者問題年表

消費者行政担当部局

関連データ集

資料1 消費者安全法の規定に基づき通知された消費者事故等

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
消費者事故等	11,616	11,944	11,414	14,941	15,308
生命身体事故等	2,695	2,632	2,435	3,992	4,914
重大事故等	1,159	1,391	1,487	1,500	1,351
重大事故等を除く生命身体事故等	1,536	1,241	948	2,492	3,563
財産事案	8,921	9,312	8,979	10,949	10,394

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
第12条第1項等の規定に基づき通知された重大事故等	1,159	1,391	1,487	1,500	1,351
第12条第2項等の規定に基づき通知された消費者事故等	10,457	10,553	9,927	13,441	13,957

(備考) 1. 2018年4月1日から2023年3月31日までに消費者庁へ通知された消費者事故等の件数。
 2. 生命身体事故等の件数には、過去に消費者庁へ通知された事案と同一の事案について、他の機関から通知された場合は含めていない。
 3. 「第12条第1項等」の「等」とは、第29条第1項を示す。
 4. 「第12条第2項等」の「等」とは、第29条第2項を示す。

資料2 消費者安全法第12条第1項等の規定に基づき通知された重大事故等

○資料2-1 事故内容別件数

事故内容	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
火災	937	80.8%	1,104	79.4%	1,204	81.0%	1,252	83.5%	1,141	84.5%
発煙・発火・過熱	2	0.2%	0	0.0%	6	0.4%	4	0.3%	0	0.0%
点火・燃焼・消火不良	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
破裂	0	0.0%	8	0.6%	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
ガス爆発	2	0.2%	3	0.2%	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%
ガス漏れ	2	0.2%	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
燃料・液漏れ等	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
化学物質による危険	3	0.3%	3	0.2%	2	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
漏電・電波等の障害	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
製品破損	4	0.3%	4	0.3%	9	0.6%	8	0.5%	7	0.5%
部品脱落	2	0.2%	6	0.4%	1	0.1%	5	0.3%	2	0.1%
機能故障	3	0.3%	4	0.3%	4	0.3%	2	0.1%	0	0.0%
転落・転倒・不安定	88	7.6%	116	8.3%	108	7.3%	105	7.0%	103	7.6%
操作・使用性の欠落	2	0.2%	5	0.4%	1	0.1%	0	0.0%	3	0.2%
交通事故	30	2.6%	16	1.2%	13	0.9%	16	1.1%	12	0.9%
誤飲	2	0.2%	0	0.0%	2	0.1%	4	0.3%	2	0.1%
中毒	8	0.7%	9	0.6%	8	0.5%	6	0.4%	6	0.4%
異物の混入・侵入	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%
腐敗・変質	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	72	6.2%	111	8.0%	126	8.5%	95	6.3%	73	5.4%
無記入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,159	100.0%	1,391	100.0%	1,487	100.0%	1,500	100.0%	1,351	100.0%

(備考) 2018年4月1日から2023年3月31日までに消費者庁へ通知された重大事故等の件数。資料11を参照。

○資料2-2 事故内容別分類と通知月別件数（2022年度）

通知年月 事故内容	2022年												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
火災	52 (93)	105 (122)	100 (119)	85 (87)	110 (107)	98 (108)	80 (102)	92 (97)	113 (104)	99 (112)	88 (102)	119 (99)	1,141 (1,252)
発煙・発火・過熱	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (4)
点火・燃焼・消火不良	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
破裂	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
ガス爆発	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
ガス漏れ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
燃料・液漏れ等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
化学物質による危険	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)
漏電・電波等の障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
製品破損	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	7 (8)
部品脱落	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (5)
機能故障	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)
転落・転倒・不安定	9 (6)	7 (4)	9 (8)	5 (14)	8 (8)	10 (5)	8 (13)	5 (20)	10 (10)	8 (8)	11 (4)	13 (5)	103 (105)
操作・使用性の欠落	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
交通事故	0 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	2 (0)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	1 (3)	0 (2)	0 (0)	1 (0)	12 (16)
誤飲	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (4)
中毒	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	1 (1)	4 (0)	0 (0)	6 (6)
異物の混入・侵入	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
腐敗・変質	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	4 (3)	0 (5)	5 (9)	3 (9)	2 (9)	10 (7)	5 (7)	6 (9)	9 (15)	9 (10)	5 (5)	15 (7)	73 (95)
無記入	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	66 (105)	113 (136)	116 (139)	93 (114)	124 (125)	122 (126)	98 (125)	104 (130)	136 (138)	120 (137)	109 (113)	150 (112)	1,351 (1,500)

（備考） 件数欄の（ ）内の数字は2021年度の件数。資料11を参照。

○資料2-3 商品等別件数（大分類）

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
食料品	1	0.1%	4	0.3%	5	0.3%	2	0.1%	1	0.1%
家電製品	306	26.4%	335	24.1%	398	26.8%	413	27.5%	365	27.0%
住居品	135	11.6%	161	11.6%	196	13.2%	184	12.3%	162	12.0%
文具・娯楽用品	31	2.7%	41	2.9%	40	2.7%	37	2.5%	32	2.4%
光熱水品	23	2.0%	20	1.4%	49	3.3%	69	4.6%	59	4.4%
被服品	1	0.1%	7	0.5%	0	0.0%	6	0.4%	3	0.2%
保健衛生品	9	0.8%	28	2.0%	28	1.9%	18	1.2%	22	1.6%
車両・乗り物	373	32.2%	482	34.7%	457	30.7%	485	32.3%	418	30.9%
建物・設備	103	8.9%	126	9.1%	100	6.7%	101	6.7%	106	7.8%
保健・福祉サービス	83	7.2%	98	7.0%	124	8.3%	108	7.2%	132	9.8%
他の商品・サービス	94	8.1%	89	6.4%	90	6.1%	77	5.1%	51	3.8%
無記入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,159	100.0%	1,391	100.0%	1,487	100.0%	1,500	100.0%	1,351	100.0%

（備考） 2018年4月1日から2023年3月31日までに消費者庁へ通知された重大事故等の件数。資料12を参照。

○資料2-4 年齢層別商品等別件数（中分類）¹（2022年度）

年齢層	商品等内訳			年齢層別合計
5歳未満	福祉(42)	住生活用品、玩具・遊具(各2)	自転車・自転車用品、商品・サービスその他(各1)	48
5歳以上 10歳未満	福祉(23)	商品・サービスその他(2)	玩具・遊具(1)	26
10歳代	家事用品、他の建物・設備、福祉、商品・サービスその他(各1)			4
20歳代	医療、商品・サービスその他(各2)		他の建物・設備(1)	5
30歳代	医療、理美容、福祉(各2)		家事用品、他の住居品、他の建物・設備、他の保健・福祉(各1)	10
40歳代	商品・サービスその他(3)	福祉(2)	生活家電、住生活用品、他の建物・設備(各1)	8
50歳代	商品・サービスその他(3)	他の住居品(2)	嗜好・調理食品、生活家電、住生活用品、健康器具、医療機器、自動車、理美容、他の保健・福祉(各1)	13
60歳代	健康器具(2)	家事用品、他の建物・設備、医療、福祉、商品・サービスその他(各1)		7
70歳代	福祉(4)	商品・サービスその他(3)	生活家電、住生活用品、他の住居品、他の光熱水品、理美容(各1)	12
80歳以上	福祉(45)	商品・サービスその他(20)	住生活用品(2) 生活家電、家事用品、他の住居品、他の光熱水品、自転車・自転車用品(各1)	72
無記入				1,146
合計				1,351

（備考） 商品等内訳欄の（ ）内の数字は件数。資料12を参照。

○資料2-5 発生施設別件数

発生施設	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
住宅	419	36.2%	488	35.1%	502	33.8%	507	33.8%	687	50.9%
店舗・商業施設	91	7.9%	115	8.3%	114	7.7%	100	6.7%	103	7.6%
学校	12	1.0%	6	0.4%	3	0.2%	15	1.0%	12	0.9%
病院・福祉施設	71	6.1%	95	6.8%	107	7.2%	100	6.7%	115	8.5%
公園	1	0.1%	4	0.3%	3	0.2%	7	0.5%	11	0.8%
道路	230	19.8%	261	18.8%	276	18.6%	266	17.7%	221	16.4%
公共施設	4	0.3%	5	0.4%	2	0.1%	2	0.1%	6	0.4%
海・山・川等自然環境	1	0.1%	3	0.2%	1	0.1%	3	0.2%	4	0.3%
車内・機内・船内	103	8.9%	65	4.7%	67	4.5%	51	3.4%	56	4.1%
その他	64	5.5%	33	2.4%	30	2.0%	23	1.5%	81	6.0%
無記入	163	14.1%	316	22.7%	382	25.7%	426	28.4%	55	4.1%
計	1,159	100.0%	1,391	100.0%	1,487	100.0%	1,500	100.0%	1,351	100.0%

（備考） 2018年4月1日から2023年3月31日までに消費者庁へ通知された重大事故等の件数。

1）商品別分類のうち、中分類を使用。大分類と中分類の関係は、資料12を参照。なお、この表は、通知された重大事故等のうち、当該事故等による被害者が存在し、かつ当該被害者の年齢が明らかな事案を集計したものである。

○資料2-6 発生地域別件数²

発生地域	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
北海道・東北	161	13.9%	146	10.5%	166	11.2%	177	11.8%	167	12.4%
関東	345	29.8%	431	31.0%	525	35.3%	520	34.7%	470	34.8%
中部	225	19.4%	258	18.5%	261	17.6%	261	17.4%	215	15.9%
近畿	195	16.8%	262	18.8%	266	17.9%	278	18.5%	262	19.4%
中国	88	7.6%	93	6.7%	92	6.2%	78	5.2%	75	5.6%
四国	33	2.8%	43	3.1%	33	2.2%	39	2.6%	39	2.9%
九州・沖縄	112	9.7%	158	11.4%	144	9.7%	147	9.8%	123	9.1%
計	1,159	100.0%	1,391	100.0%	1,487	100.0%	1,500	100.0%	1,351	100.0%

(備考) 2018年4月1日から2023年3月31日までに消費者庁へ通知された重大事故等の件数。

資料3 消費者安全法第12条第2項等の規定に基づき通知された消費者事故等

(1) 生命身体事故等

○資料3-1 事故内容別件数

事故内容	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
発煙・発火・過熱	108	7.0%	120	9.7%	88	9.3%	85	3.4%	91	2.6%
点火・燃焼・消火不良	3	0.2%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
破裂	18	1.2%	12	1.0%	7	0.7%	1	0.0%	3	0.1%
ガス爆発	13	0.8%	5	0.4%	7	0.7%	5	0.2%	4	0.1%
ガス漏れ	10	0.7%	5	0.4%	7	0.7%	6	0.2%	2	0.1%
燃料・液漏れ等	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
化学物質による危険	29	1.9%	48	3.9%	42	4.4%	132	5.3%	32	0.9%
漏電・電波等の障害	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
製品破損	4	0.3%	6	0.5%	3	0.3%	3	0.1%	2	0.1%
部品脱落	1	0.1%	0	0.0%	2	0.2%	2	0.1%	0	0.0%
機能故障	7	0.5%	2	0.2%	1	0.1%	1	0.0%	1	0.0%
転落・転倒・不安定	16	1.0%	15	1.2%	11	1.2%	49	2.0%	66	1.9%
操作・使用性の欠落	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	2	0.1%
交通事故	7	0.5%	8	0.6%	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
誤飲	3	0.2%	2	0.2%	2	0.2%	5	0.2%	6	0.2%
中毒	805	52.4%	622	50.1%	374	39.5%	355	14.2%	451	12.7%
異物の混入・侵入	9	0.6%	3	0.2%	4	0.4%	40	1.6%	536	15.0%
腐敗・変質	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	20	0.8%	111	3.1%
その他	500	32.6%	391	31.5%	397	41.9%	1,785	71.6%	2,256	63.3%
無記入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,536	100.0%	1,241	100.0%	948	100.0%	2,492	100.0%	3,563	100.0%

(備考) 2018年4月1日から2023年3月31日までに消費者庁へ通知された、重大事故等を除く生命身体事故等の件数。資料11を参照。

- 2) 北海道・東北：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

○資料3-2 商品等別分類（大分類）

商品等別分類	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
食料品	968	63.0%	706	56.9%	500	52.7%	2,006	80.5%	3,008	84.4%
家電製品	35	2.3%	40	3.2%	30	3.2%	23	0.9%	25	0.7%
住居品	60	3.9%	65	5.2%	44	4.6%	45	1.8%	45	1.3%
文具・娯楽用品	9	0.6%	4	0.3%	5	0.5%	10	0.4%	7	0.2%
光熱水品	11	0.7%	2	0.2%	3	0.3%	0	0.0%	2	0.1%
被服品	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	1	0.0%	2	0.1%
保健衛生品	5	0.3%	5	0.4%	7	0.7%	6	0.2%	8	0.2%
車両・乗り物	297	19.3%	329	26.5%	278	29.3%	272	10.9%	274	7.7%
建物・設備	66	4.3%	38	3.1%	32	3.4%	37	1.5%	51	1.4%
保健・福祉サービス	50	3.3%	26	2.1%	33	3.5%	83	3.3%	131	3.7%
他の商品・サービス	35	2.3%	26	2.1%	15	1.6%	9	0.4%	10	0.3%
無記入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,536	100.0%	1,241	100.0%	948	100.0%	2,492	100.0%	3,563	100.0%

（備考） 2018年4月1日から2023年3月31日までに消費者庁へ通知された、重大事故等を除く生命身体事故等の件数。資料12を参照。

○資料3-3 発生施設別件数

発生施設	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
住宅	126	8.2%	117	9.4%	96	10.1%	84	3.4%	101	2.8%
店舗・商業施設	815	53.1%	632	50.9%	375	39.6%	324	13.0%	460	12.9%
学校	23	1.5%	12	1.0%	14	1.5%	11	0.4%	8	0.2%
病院・福祉施設	69	4.5%	50	4.0%	50	5.3%	95	3.8%	124	3.5%
公園	2	0.1%	1	0.1%	2	0.2%	3	0.1%	12	0.3%
道路	10	0.7%	13	1.0%	5	0.5%	11	0.4%	9	0.3%
公共施設	4	0.3%	6	0.5%	1	0.1%	0	0.0%	8	0.2%
海・山・川等自然環境	2	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	1	0.0%	2	0.1%
車内・機内・船内	6	0.4%	6	0.5%	2	0.2%	2	0.1%	4	0.1%
その他	105	6.8%	50	4.0%	78	8.2%	41	1.6%	40	1.1%
無記入	374	24.3%	353	28.4%	324	34.2%	1,920	77.0%	2,795	78.4%
計	1,536	100.0%	1,241	100.0%	948	100.0%	2,492	100.0%	3,563	100.0%

（備考） 2018年4月1日から2023年3月31日までに消費者庁へ通知された、重大事故等を除く生命身体事故等の件数。

○資料3-4 発生地域別件数³

発生地域	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
北海道・東北	190	12.4%	99	8.0%	65	6.9%	250	10.0%	308	8.6%
関東	476	31.0%	379	30.5%	271	28.6%	713	28.6%	1,247	35.0%
中部	154	10.0%	144	11.6%	109	11.5%	442	17.7%	545	15.3%
近畿	196	12.8%	149	12.0%	113	11.9%	281	11.3%	413	11.6%
中国	42	2.7%	52	4.2%	34	3.6%	135	5.4%	166	4.7%
四国	34	2.2%	28	2.3%	26	2.7%	113	4.5%	128	3.6%
九州・沖縄	135	8.8%	93	7.5%	57	6.0%	237	9.5%	482	13.5%
無記入	309	20.1%	297	23.9%	273	28.8%	321	12.9%	274	7.7%
計	1,536	100.0%	1,241	100.0%	948	100.0%	2,492	100.0%	3,563	100.0%

（備考） 2018年4月1日から2023年3月31日までに消費者庁へ通知された、重大事故等を除く生命身体事故等の件数。

(2) 財産事案

○資料3-5 商品等別件数

商品別分類	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
商品一般	426	4.8%	580	6.2%	444	4.9%	382	3.5%	384	3.7%
食料品	402	4.5%	587	6.3%	964	10.7%	597	5.5%	380	3.7%
住居品	345	3.9%	350	3.8%	334	3.7%	341	3.1%	348	3.3%
光熱水品	1270	14.2%	1,365	14.7%	1,059	11.8%	3,174	29.0%	3,155	30.4%
被服品	292	3.3%	236	2.5%	247	2.8%	294	2.7%	262	2.5%
保健衛生品	288	3.2%	558	6.0%	704	7.8%	493	4.5%	495	4.8%
教養娯楽品	637	7.1%	606	6.5%	572	6.4%	515	4.7%	484	4.7%
車両・乗り物	165	1.8%	197	2.1%	170	1.9%	183	1.7%	152	1.5%
土地・建物・設備	292	3.3%	256	2.7%	243	2.7%	415	3.8%	233	2.2%
他の商品	20	0.2%	21	0.2%	21	0.2%	24	0.2%	22	0.2%
商品全体	4,137	46.4%	4,756	51.1%	4,758	53.0%	6,418	58.6%	5,915	56.9%
クリーニング	4	0.0%	11	0.1%	2	0.0%	3	0.0%	8	0.1%
レンタル・リース・貸借	60	0.7%	51	0.5%	64	0.7%	42	0.4%	42	0.4%
工事・建築・加工	283	3.2%	301	3.2%	314	3.5%	247	2.3%	278	2.7%
修理・補修	158	1.8%	115	1.2%	176	2.0%	559	5.1%	182	1.8%
管理・保管	9	0.1%	9	0.1%	7	0.1%	11	0.1%	9	0.1%
役務一般	2	0.0%	8	0.1%	17	0.2%	38	0.3%	26	0.3%
金融・保険サービス	1,460	16.4%	1,114	12.0%	973	10.8%	973	8.9%	1,381	13.3%
運輸・通信サービス	1029	11.5%	1,091	11.7%	814	9.1%	367	3.4%	168	1.6%
教育サービス	127	1.4%	149	1.6%	128	1.4%	126	1.2%	96	0.9%
教養・娯楽サービス	396	4.4%	436	4.7%	430	4.8%	620	5.7%	630	6.1%
保健・福祉サービス	396	4.4%	430	4.6%	471	5.2%	570	5.2%	580	5.6%
他の役務	511	5.7%	516	5.5%	469	5.2%	661	6.0%	682	6.6%
内職・副業・ねずみ講	187	2.1%	145	1.6%	156	1.7%	138	1.3%	248	2.4%
他の行政サービス	13	0.1%	13	0.1%	38	0.4%	11	0.1%	24	0.2%
サービス全体	4,635	52.0%	4,389	47.1%	4,059	45.2%	4,366	39.9%	4,354	41.9%
他の相談	149	1.7%	167	1.8%	162	1.8%	165	1.5%	125	1.2%
計	8,921	100.0%	9,312	100.0%	8,979	100.0%	10,949	100.0%	10,394	100.0%

(備考) 1. 2018年4月1日から2023年3月31日までに消費者庁へ通知された消費者事故等のうち、財産事案の件数。資料13を参照。

2. 商品等別は商品別分類（大分類）を使用。資料13を参照。

- 3) 北海道・東北：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

資料4 PIO-NETに収集された情報

○資料4-1 商品等別件数

商品別分類		2018年		2019年		2020年		2021年				2022年	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	(1～3月)		(4～12月)		件数	構成比
								件数	構成比	件数	構成比		
	商品一般	246,772	24.1%	156,859	16.7%	90,151	9.6%	22,319	10.0%	58,341	9.2%	79,046	9.1%
	食料品	55,304	5.4%	69,623	7.4%	89,296	9.5%	14,522	6.5%	42,952	6.8%	54,720	6.3%
	住居品	28,428	2.8%	29,509	3.1%	37,481	4.0%	8,831	4.0%	26,739	4.2%	40,964	4.7%
	光熱水品	16,022	1.6%	18,252	1.9%	18,043	1.9%	5,933	2.7%	14,238	2.2%	19,901	2.3%
	被服品	36,498	3.6%	35,563	3.8%	45,500	4.8%	10,668	4.8%	36,455	5.7%	53,925	6.2%
	保健衛生品	29,416	2.9%	47,066	5.0%	79,470	8.4%	15,679	7.0%	46,753	7.4%	78,320	9.0%
	教養娯楽品	59,822	5.8%	57,681	6.1%	69,268	7.4%	17,996	8.1%	50,233	7.9%	71,020	8.2%
	車両・乗り物	20,932	2.0%	20,769	2.2%	20,541	2.2%	5,299	2.4%	16,076	2.5%	21,736	2.5%
	土地・建物・設備	27,109	2.6%	25,233	2.7%	22,661	2.4%	5,791	2.6%	17,123	2.7%	22,251	2.6%
	他の商品	1,179	0.1%	1,196	0.1%	1,263	0.1%	276	0.1%	1,042	0.2%	1,406	0.2%
	商品全体	521,482	50.8%	461,751	49.1%	473,674	50.3%	107,314	48.2%	309,952	48.7%	443,289	51.0%
	クリーニング	4,288	0.4%	3,791	0.4%	2,803	0.3%	520	0.2%	1,905	0.3%	2,533	0.3%
	レンタル・リース・貸借	44,791	4.4%	42,993	4.6%	42,756	4.5%	11,376	5.1%	32,452	5.1%	41,427	4.8%
	工事・建築・加工	27,575	2.7%	29,712	3.2%	27,233	2.9%	6,989	3.1%	22,252	3.5%	28,340	3.3%
	修理・補修	14,734	1.4%	14,870	1.6%	16,052	1.7%	4,648	2.1%	13,036	2.0%	15,950	1.8%
	管理・保管	2,373	0.2%	1,889	0.2%	1,635	0.2%	367	0.2%	1,255	0.2%	1,627	0.2%
	役務一般	2,918	0.3%	3,447	0.4%	2,797	0.3%	823	0.4%	6,098	1.0%	6,453	0.7%
	金融・保険サービス	70,032	6.8%	64,455	6.9%	56,684	6.0%	14,837	6.7%	43,565	6.9%	59,341	6.8%
	運輸・通信サービス	210,131	20.5%	175,584	18.7%	165,909	17.6%	40,894	18.4%	53,064	8.3%	63,319	7.3%
	教育サービス	3,928	0.4%	3,998	0.4%	3,998	0.4%	935	0.4%	2,423	0.4%	3,063	0.4%
	教養・娯楽サービス	26,793	2.6%	31,367	3.3%	33,471	3.6%	5,960	2.7%	59,103	9.3%	76,221	8.8%
	保健・福祉サービス	32,991	3.2%	35,937	3.8%	36,829	3.9%	7,811	3.5%	28,825	4.5%	52,772	6.1%
	他の役務	37,338	3.6%	43,158	4.6%	47,940	5.1%	12,846	5.8%	40,095	6.3%	51,980	6.0%
	内職・副業・ねずみ講	5,233	0.5%	5,015	0.5%	5,385	0.6%	1,700	0.8%	9,439	1.5%	10,302	1.2%
	他の行政サービス	3,759	0.4%	4,392	0.5%	7,698	0.8%	1,524	0.7%	2,847	0.4%	6,005	0.7%
	サービス全体	486,884	47.5%	460,608	49.0%	451,190	47.9%	111,230	50.0%	316,359	49.7%	419,333	48.2%
	他の相談	17,490	1.7%	17,900	1.9%	16,229	1.7%	4,106	1.8%	9,621	1.5%	7,316	0.8%
	計	1,025,856	100.0%	940,259	100.0%	941,093	100.0%	222,650	100.0%	635,932	100.0%	869,938	100.0%

(備考) 1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報(2023年3月31日までの登録分)。
2. 商品等別は商品別分類(大分類)を使用。資料13を参照。

○資料4-2 相談内容別件数

相談内容	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
安全・衛生	26,430	2.6%	28,243	3.0%	29,356	3.1%	26,216	3.1%	25,498	2.9%
品質・機能・役務品質	102,688	10.0%	103,752	11.0%	107,104	11.4%	105,076	12.2%	102,928	11.8%
法規・基準	20,777	2.0%	20,890	2.2%	21,760	2.3%	20,592	2.4%	20,639	2.4%
価格・料金	122,607	12.0%	124,879	13.3%	124,002	13.2%	119,177	13.9%	121,132	13.9%
計量・量目	888	0.1%	860	0.1%	1,018	0.1%	874	0.1%	1,028	0.1%
表示・広告	58,743	5.7%	63,578	6.8%	75,772	8.1%	70,229	8.2%	75,434	8.7%
販売方法	541,292	52.8%	478,662	50.9%	471,382	50.1%	436,114	50.8%	448,959	51.6%
契約・解約	783,360	76.4%	708,757	75.4%	709,311	75.4%	643,024	74.9%	668,857	76.9%
接客対応	124,285	12.1%	125,877	13.4%	140,764	15.0%	134,228	15.6%	137,723	15.8%
包装・容器	756	0.1%	675	0.1%	885	0.1%	1,144	0.1%	690	0.1%
施設・設備	1,543	0.2%	1,491	0.2%	1,309	0.1%	1,318	0.2%	1,301	0.1%

(備考) 1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報(2023年3月31日までの登録分)。
2. 相談内容別分類は複数回答項目。
3. 構成比は、資料4-1に示されている各年の相談件数計に対する割合。

○資料4-3 危害・危険別件数

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
危害情報	10,997	14,096	12,923	11,295	11,850
危険情報	2,775	2,387	2,104	1,941	1,876
計	13,772	16,483	15,027	13,236	13,726

(備考) PIO-NETに登録された消費生活相談情報(2023年3月31日までの登録分)。

○資料4-4 危害情報の危害内容別件数

相談内容	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
骨折	323	2.9%	317	2.2%	231	1.8%	225	2.0%	242	2.0%
脱臼・捻挫	49	0.4%	63	0.4%	58	0.4%	52	0.5%	73	0.6%
切断	11	0.1%	4	0.0%	0	0.0%	2	0.0%	2	0.0%
擦過傷・挫傷・打撲傷	645	5.9%	641	4.5%	564	4.4%	563	5.0%	576	4.9%
刺傷・切傷	533	4.8%	477	3.4%	400	3.1%	433	3.8%	430	3.6%
頭蓋(内)損傷	39	0.4%	22	0.2%	20	0.2%	15	0.1%	21	0.2%
内臓損傷	15	0.1%	12	0.1%	15	0.1%	13	0.1%	2	0.0%
神経・脊髄の損傷	233	2.1%	200	1.4%	185	1.4%	199	1.8%	169	1.4%
筋・腱の損傷	85	0.8%	83	0.6%	58	0.4%	64	0.6%	57	0.5%
窒息	14	0.1%	19	0.1%	10	0.1%	9	0.1%	10	0.1%
感覚機能の低下	110	1.0%	134	1.0%	81	0.6%	66	0.6%	87	0.7%
熱傷	600	5.5%	570	4.0%	527	4.1%	549	4.9%	502	4.2%
凍傷	14	0.1%	10	0.1%	4	0.0%	4	0.0%	8	0.1%
皮膚障害	3,221	29.3%	4,708	33.4%	4,526	35.0%	4,452	39.4%	4,941	41.7%
感電障害	14	0.1%	4	0.0%	8	0.1%	13	0.1%	8	0.1%
中毒	149	1.4%	152	1.1%	98	0.8%	71	0.6%	108	0.9%
呼吸器障害	318	2.9%	390	2.8%	375	2.9%	279	2.5%	290	2.4%
消化器障害	1,726	15.7%	3,300	23.4%	2,846	22.0%	1,183	10.5%	1,236	10.4%
その他の傷病及び諸症状	2,667	24.3%	2,761	19.6%	2,636	20.4%	2,873	25.4%	2,879	24.3%
不明	231	2.1%	229	1.6%	281	2.2%	230	2.0%	209	1.8%
計	10,997	100.0%	14,096	100.0%	12,923	100.0%	11,295	100.0%	11,850	100.0%

(備考) PIO-NETに登録された消費生活相談情報(2023年3月31日までの登録分)。

○資料4-5 危険情報の危険内容別件数

相談内容	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
火災	57	2.1%	50	2.1%	43	2.0%	50	2.6%	53	2.8%
発火・引火	199	7.2%	222	9.3%	212	10.1%	199	10.3%	166	8.8%
発煙・火花	380	13.7%	284	11.9%	298	14.2%	284	14.6%	251	13.4%
過熱・こげる	400	14.4%	335	14.0%	325	15.4%	284	14.6%	275	14.7%
ガス爆発	1	0.0%	1	0.0%	1	0.0%	3	0.2%	3	0.2%
ガス漏れ	21	0.8%	14	0.6%	15	0.7%	10	0.5%	13	0.7%
点火・燃焼・消火不良	22	0.8%	19	0.8%	15	0.7%	15	0.8%	10	0.5%
漏電・電波等の障害	11	0.4%	15	0.6%	7	0.3%	9	0.5%	9	0.5%
燃料・液漏れ等	70	2.5%	51	2.1%	56	2.7%	49	2.5%	47	2.5%
化学物質による危険	15	0.5%	12	0.5%	12	0.6%	9	0.5%	8	0.4%
破裂	64	2.3%	69	2.9%	34	1.6%	41	2.1%	29	1.5%
破損・折損	346	12.5%	244	10.2%	218	10.4%	195	10.0%	191	10.2%
部品脱落	96	3.5%	81	3.4%	63	3.0%	67	3.5%	59	3.1%
機能故障	347	12.5%	326	13.7%	220	10.5%	216	11.1%	229	12.2%
転落・転倒・不安定	51	1.8%	43	1.8%	41	1.9%	42	2.2%	42	2.2%
バリ ⁴ ・鋭利	9	0.3%	2	0.1%	8	0.4%	6	0.3%	6	0.3%
操作・使用性の欠落	59	2.1%	73	3.1%	40	1.9%	47	2.4%	40	2.1%
腐敗・変質	21	0.8%	27	1.1%	7	0.3%	16	0.8%	15	0.8%
異物の混入	363	13.1%	304	12.7%	280	13.3%	271	14.0%	282	15.0%
異物の侵入	13	0.5%	9	0.4%	12	0.6%	10	0.5%	9	0.5%
その他	220	7.9%	204	8.5%	192	9.1%	118	6.1%	138	7.4%
不明	10	0.4%	2	0.1%	5	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
計	2,775	100.0%	2,387	100.0%	2,104	100.0%	1,941	100.0%	1,876	100.0%

(備考) PIO-NETに登録された消費生活相談情報(2023年3月31日までの登録分)。

4) 商品の角等が滑らかに処理されていないこと。

○資料4-6 危害情報の商品等別件数

商品別分類		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
商品一般		159	1.4%	130	0.9%	117	0.9%	127	1.1%	149	1.3%
食料品		2,749	25.0%	4,868	34.5%	4,371	33.8%	1,987	17.6%	1,881	15.9%
住居品		752	6.8%	774	5.5%	850	6.6%	776	6.9%	811	6.8%
光熱水品		42	0.4%	32	0.2%	35	0.3%	32	0.3%	21	0.2%
被服品		288	2.6%	265	1.9%	195	1.5%	212	1.9%	203	1.7%
保健衛生品		2,438	22.2%	3,478	24.7%	3,469	26.8%	3,968	35.1%	4,484	37.8%
教養娯楽品		341	3.1%	326	2.3%	411	3.2%	338	3.0%	299	2.5%
車両・乗り物		193	1.8%	189	1.3%	164	1.3%	151	1.3%	137	1.2%
土地・建物・設備		141	1.3%	135	1.0%	122	0.9%	103	0.9%	101	0.9%
他の商品		2	0.0%	3	0.0%	6	0.0%	1	0.0%	2	0.0%
商品全体		7,105	64.6%	10,200	72.4%	9,740	75.4%	7,695	68.1%	8,088	68.3%
クリーニング		14	0.1%	8	0.1%	5	0.0%	5	0.0%	1	0.0%
レンタル・リース・貸借		299	2.7%	304	2.2%	343	2.7%	320	2.8%	306	2.6%
工事・建築・加工		106	1.0%	107	0.8%	95	0.7%	83	0.7%	95	0.8%
修理・補修		27	0.2%	21	0.1%	9	0.1%	19	0.2%	21	0.2%
管理・保管		6	0.1%	3	0.0%	2	0.0%	2	0.0%	6	0.1%
役務一般		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金融・保険サービス		21	0.2%	13	0.1%	7	0.1%	7	0.1%	7	0.1%
運輸・通信サービス		66	0.6%	60	0.4%	55	0.4%	45	0.4%	55	0.5%
教育サービス		3	0.0%	8	0.1%	4	0.0%	7	0.1%	6	0.1%
教養・娯楽サービス		341	3.1%	316	2.2%	188	1.5%	252	2.2%	337	2.8%
保健・福祉サービス		2,570	23.4%	2,638	18.7%	2,221	17.2%	2,610	23.1%	2,620	22.1%
他の役務		430	3.9%	403	2.9%	239	1.8%	241	2.1%	301	2.5%
内職・副業・ねずみ講		1	0.0%	3	0.0%	3	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
他の行政サービス		8	0.1%	12	0.1%	12	0.1%	8	0.1%	7	0.1%
サービス全体		3,892	35.4%	3,896	27.6%	3,183	24.6%	3,600	31.9%	3,762	31.7%
他の相談		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		10,997	100.0%	14,096	100.0%	12,923	100.0%	11,295	100.0%	11,850	100.0%

(備考) 1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報(2023年3月31日までの登録分)。
2. 商品等別は商品別分類(大分類)を使用。資料13を参照。

○資料4-7 危険情報の商品等別件数

商品別分類	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
商品一般	6	0.2%	10	0.4%	5	0.2%	5	0.3%	6	0.3%
食料品	365	13.2%	318	13.3%	287	13.6%	268	13.8%	281	15.0%
住居品	813	29.3%	668	28.0%	658	31.3%	583	30.0%	571	30.4%
光熱水品	65	2.3%	43	1.8%	42	2.0%	37	1.9%	32	1.7%
被服品	41	1.5%	34	1.4%	26	1.2%	34	1.8%	23	1.2%
保健衛生品	108	3.9%	92	3.9%	111	5.3%	87	4.5%	97	5.2%
教養娯楽品	387	13.9%	334	14.0%	334	15.9%	289	14.9%	225	12.0%
車両・乗り物	558	20.1%	516	21.6%	381	18.1%	340	17.5%	347	18.5%
土地・建物・設備	104	3.7%	72	3.0%	56	2.7%	58	3.0%	54	2.9%
他の商品	1	0.0%	8	0.3%	5	0.2%	8	0.4%	2	0.1%
商品全体	2,448	88.2%	2,095	87.8%	1,905	90.5%	1,709	88.0%	1,638	87.3%
クリーニング	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
レンタル・リース・貸借	75	2.7%	66	2.8%	54	2.6%	63	3.2%	57	3.0%
工事・建築・加工	56	2.0%	42	1.8%	29	1.4%	37	1.9%	35	1.9%
修理・補修	56	2.0%	52	2.2%	40	1.9%	45	2.3%	46	2.5%
管理・保管	5	0.2%	1	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	8	0.4%
役務一般	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金融・保険サービス	0	0.0%	3	0.1%	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
運輸・通信サービス	22	0.8%	19	0.8%	14	0.7%	12	0.6%	14	0.7%
教育サービス	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
教養・娯楽サービス	13	0.5%	9	0.4%	4	0.2%	9	0.5%	10	0.5%
保健・福祉サービス	38	1.4%	35	1.5%	20	1.0%	9	0.5%	19	1.0%
他の役務	55	2.0%	62	2.6%	36	1.7%	55	2.8%	46	2.5%
内職・副業・ねずみ講	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
他の行政サービス	5	0.2%	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%
サービス全体	327	11.8%	292	12.2%	199	9.5%	232	12.0%	238	12.7%
他の相談	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,775	100.0%	2,387	100.0%	2,104	100.0%	1,941	100.0%	1,876	100.0%

(備考) 1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報(2023年3月31日までの登録分)。
2. 商品等別は商品別分類(大分類)を使用。資料13を参照。

○資料4-8 危害情報の被害者年齢層別商品別上位件数（2022年度）

年齢層	商品等内訳					年齢層別合計
5歳未満	ホテル・旅館 (7)	遊園地・レジャーランド、外食 (各6)	保健衛生品 その他 (5)	自転車 (4)	花火、不動産貸借、 保育園 (各3)	80
	パン類、乳製品、育児家具類、ふとん類、他の住居雑品、子守用被服品、歯みがき用品、ベビー用玩具、他の玩具・遊具、 ベビーカー (各2)					
5歳以上 10歳未満	外食 (7)	スポーツ・健康 教室 (6)	他の玩具・遊具、遊興 施設利用 (各5)	洗濯用洗剤、保健衛 生品その他、自転車 (各 4)	冷凍調理食品、医療 サービス (各3)	87
	他の洋生菓子、あめ、他の菓子類、学生かばん、レンタルサービス、スポーツ施設利用、遊園地・レジャーランド、歯科治 療、浴場 (各2)					
10歳代	他の化粧品、医療サー ビス (各30)	自転車 (22)	パーマ (14)	基礎化粧品 (12)	他の健康食品 (10)	225
	歯 科 治 療、エ ス テ ティックサービス、外 食 (各9)	洗濯用洗剤、頭髪用 化粧品、不動産貸借 (各 4)	弁当、健康食品 (全般)、 ホテル・旅館、スポー ツ・健康教室、遊興施 設利用 (各3)	商品一般、他の魚介加工品、ベッド類、頭髪用具、 保健衛生品その他、工事・建築、修理サービス、 スポーツ施設利用、他のレジャー施設利用、他 の美容サービス (各2)		
20歳代	医療サービス (164)	エステティック サービス (141)	パーマ (51)	外食 (37)	他の化粧品、不動産貸 借 (各35)	825
	他の美容サービ ス (32)	歯科治療 (27)	基礎化粧品、整体 (各 25)	他の健康食品 (24)	スポーツ・健康 教室 (17)	
30歳代	医療サービス (178)	基礎化粧品 (86)	エステティック サービス (75)	他の健康食品 (59)	不動産貸借、整体 (各 52)	1,131
	パーマ (44)	外食 (42)	他の化粧品 (41)	歯科治療 (33)	頭髪用化粧品 (32)	
40歳代	基礎化粧品 (282)	メイクアップ化 粧品 (141)	医療サービス (124)	他の健康食品 (102)	頭髪用化粧品 (98)	1,771
	他の化粧品 (71)	エステティック サービス (68)	洗濯用洗剤 (65)	不動産貸借、パーマ (各 52)	整体 (49)	
50歳代	基礎化粧品 (542)	頭髪用化粧品 (212)	メイクアップ化 粧品 (209)	他の健康食品 (181)	医療サービス (134)	2,599
	他の化粧品 (104)	洗濯用洗剤 (82)	整体 (72)	歯科治療 (68)	健康食品 (全般) (60)	
60歳代	基礎化粧品 (483)	頭髪用化粧品 (238)	他の健康食品 (157)	メイクアップ化 粧品 (132)	他の化粧品 (85)	2,009
	医療サービス (71)	歯科治療 (63)	整体 (44)	商品一般、健康食品 (全 般) (各31)	洗濯用洗剤 (28)	
70歳代	基礎化粧品 (287)	頭髪用化粧品 (162)	他の健康食品 (125)	医療サービス (62)	メイクアップ化 粧品 (58)	1,461
	他の化粧品 (56)	歯科治療 (49)	健康食品 (全般) (35)	漢方薬、整体 (各28)	ふとん類 (24)	
80歳以上	基礎化粧品 (70)	他の健康食品 (60)	医療サービス (46)	頭髪用化粧品 (35)	漢方薬 (24)	680
	歯科治療 (22)	ふとん類、整体、老人 ホーム (各18)	デイクアサービ ス (16)	健康食品 (全般) (15)	他の化粧品 (13)	
無回答	基礎化粧品 (77)	医療サービス (59)	不動産貸借、外食 (各 45)	頭髪用化粧品 (43)	他の健康食品 (37)	982
	洗濯用洗剤 (35)	歯科治療、パーマ (各 30)	他の化粧品 (27)	エステティック サービス (24)	商品一般、メイクアッ プ化粧品 (各21)	
計						11,850

(備考) 1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報（2023年3月31日までの登録分）。
2. () 内の数字は件数。
3. 商品等内訳は商品キーワード（中位）。

資料5 事故等原因調査等の申出⁵件数（2022年度）

分野別内訳	申出件数												
	2022年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	累計
食 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
製 品	3	1	1	1	1	2	3	—	2	—	1	2	17
施 設	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
役 務	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	2
その他	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	3
総件数	4	1	2	2	1	2	4	1	2	0	1	3	23

(備考) 「その他」には明らかに消費者事故ではないものも含む。原因究明の過程で、当該分野が変更される可能性がある。

5) 消費者安全法改正（2012年10月1日施行）に伴う「消費者安全調査委員会」の設置と同時に開始された事故等原因調査等の申出制度によるもの。

資料6 消費生活用製品安全法の規定に基づき報告された重大製品事故

○資料6-1 製品別報告件数

製品	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
ガス機器・石油機器	153	18.3%	145	11.4%	140	13.7%	108	10.9%	144	13.0%
電気製品	551	65.8%	648	51.0%	640	62.5%	671	67.9%	747	67.4%
その他	133	15.9%	478	37.6%	244	23.8%	209	21.2%	217	19.6%
合 計	837	100.0%	1271	100.0%	1,024	100.0%	988	100.0%	1,108	100.0%

(備考) 消費生活用製品安全法の規定に基づき、消費者庁に報告された重大製品事故の件数。

○資料6-2 製品別上位品目（上位5位まで）

〈ガス機器・石油機器〉

2020年度				2021年度				2022年度			
	品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比
1	石油ストーブ	40	28.6%	1	石油ストーブ	20	18.5%	1	石油ストーブ	36	25.0%
2	ガスこんろ	21	15.0%	2	ガスこんろ	19	17.6%	2	ガストーチ	25	17.4%
3	石油給湯機	18	12.9%	3	ガストーチ	12	11.1%	3	ガスこんろ	18	12.5%
4	ガストーチ	12	8.6%		石油給湯機	12	11.1%	4	石油給湯機	14	9.7%
5	ガス湯沸器	11	7.9%	5	ガスふろがま	11	10.2%	5	石油温風暖房機	8	5.6%

〈電気製品〉

2020年度				2021年度				2022年度			
	品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比
1	電池（バッテリー）	66	10.3%	1	電池（バッテリー）	77	11.5%	1	電池（バッテリー）	115	15.4%
2	照明器具	39	6.1%	2	照明器具	48	7.2%	2	照明器具	57	7.6%
3	パソコン	36	5.6%		電気ストーブ	48	7.2%	3	エアコン（室外機）	40	5.4%
4	電気ストーブ	34	5.3%	4	エアコン（室外機）	34	5.1%	4	電気ストーブ	34	4.6%
5	エアコン	33	5.2%	5	パソコン	28	4.2%	5	エアコン（窓用含む）	31	4.1%

〈その他〉

2020年度				2021年度				2022年度			
	品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比
1	自転車	139	57.0%	1	自転車	105	50.2%	1	自転車	106	48.8%
2	脚立・踏み台・はしご	13	5.3%	2	脚立・踏み台・はしご	14	6.7%	2	脚立・踏み台・はしご	14	6.5%
3	除雪機	10	4.1%	3	椅子	8	3.8%	3	除雪機	9	4.1%
4	車いす	8	3.3%	4	靴・サンダル	7	3.3%	4	椅子	7	3.2%
5	靴・サンダル	6	2.5%		車いす	7	3.3%		靴・サンダル	7	3.2%

(備考) 1. 消費生活用製品安全法の規定に基づき、消費者庁に報告された重大製品事故の件数。
2. 構成比は、資料6-1に示されている各年度の製品別報告件数に占める割合。

資料 7 消費者庁が行った法執行・行政処分等

○資料 7-1 消費者庁が行った主な法執行・行政処分等（年度別件数）

〈消費者安全法の規定に基づく注意喚起〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
件 数	13	15	34	22	27

〈不当景品類及び不当表示防止法の規定に基づく消費者庁の措置命令〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
件 数	46	40	33	41	41

〈不当景品類及び不当表示防止法の規定に基づく消費者庁の課徴金納付命令〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
件 数	20	17	15	15	17

〈不当景品類及び不当表示防止法の規定に基づく消費者庁による課徴金納付命令に係る返金計画の認定・不認定〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
件数（認定／不認定）	0	0	1／0	0	0

〈特定商取引に関する法律の規定に基づく消費者庁等の業務停止命令等及び指示並びに業務禁止命令^{※1}〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
件 数	58	89	89	41	34

〈預託等取引に関する法律の規定に基づく消費者庁等の取引停止命令及び措置命令並びに業務禁止命令^{※2}〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
件 数	0	0	0	0	0

〈特定電子メールの送信の適正化等に関する法律の規定に基づく消費者庁の措置命令〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
件 数	0	0	0	0	0

〈家庭用品品質表示法の規定に基づく消費者庁の指示^{※3}〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
件 数	1	1	2	3	4

〈食品表示法の規定に基づく消費者庁の指示・命令〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
件 数	0	1	0	1	2

〈健康増進法の規定に基づく消費者庁の勧告〉

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
件 数	0	0	0	0	0

※1 特定商取引法の規定に基づく消費者庁等の業務停止命令等及び指示並びに業務禁止命令については、地方経済産業局等による処分件数を含む。なお、業務禁止命令は、2016 年の改正（2017年12月施行）により新設された。

※2 預託等取引に関する法律の規定に基づく消費者庁等の取引停止命令等及び措置命令並びに業務禁止命令については、地方経済産業局等による処分件数を含む。なお、業務禁止命令は、2021 年の改正（2022年 6 月施行）により新設された。

※3 件数の数え方について、指示対象品目件数から、指示対象者件数に改めている。

○資料7-2 消費者安全法の規定に基づく消費者への注意喚起(2022年度)

実施時期	件 名	内 容
2022年 4月13日 (注意喚起)	簡単な作業をするだけで「誰でも1日当たり数万円を稼ぐことができる」などの勧誘により「副業」の「マニュアル」を消費者に購入させた事業者に関する注意喚起	株式会社サポート（以下「サポート」という。）、岡戸りょう、木村里奈、小山忍、山崎ゆうき及び山下智也の6事業者は、消費者に対し、それぞれ副業のマニュアルを販売するに当たり、育児中の母親であると名乗るLINE アカウント（以下「勧誘LINE アカウント」という。）から送信する勧誘メッセージにおいて、あたかも、1日数分の簡単な作業をするだけで相当の稼ぎを得られる副業であるかのように勧誘していたが、実際に提供していたマニュアルに記載されていた副業の内容は、勧誘時の説明と異なるものであった（不実告知）。 また、サポート、木村里奈、小山忍、山崎ゆうき及び山下智也は、消費者に対し、勧誘LINE アカウントから送信する勧誘メッセージにおいて、簡単な作業をするだけで「誰でも1日当たり数万円を稼ぐことができる」と勧誘していたが、当該金額を稼げるかどうかは、自身で用意した情報が売れるか否か、自身が提供した役務の出来等の事情によって左右されるものであって不確実なものであった（断定的判断の提供）。
2022年 6月1日 (注意喚起)	ウェブサイト上で「お得な定額パック 定額パック料金は、全てが込み込みの料金」などの広告・表示をして不用品・粗大ごみ回収サービスを提供する事業者に関する注意喚起	ADW株式会社及び株式会社Triple R（以下「本件2事業者」という。）は、それぞれ運営するウェブサイト（以下「本件ウェブサイト」という。）において、追加料金のない定額パック料金で不用品・粗大ごみ回収サービス（以下「不用品等回収サービス」という。）を提供している旨の広告をし、その広告を閲覧した消費者は、本件2事業者が提供する不用品等回収サービスを追加料金のない定額パック料金で受けられるものと認識して申し込んでいたが、本件2事業者が提供する不用品等回収サービスの実態は、不用品・粗大ごみをトラックに積んだ後などに消費者が本件ウェブサイトを開覧して認識していた定額パック料金以上の料金を請求しており、広告・表示の内容と異なるものであった（虚偽・誇大な広告・表示）。
2022年 6月30日 (注意喚起)	新生ホームサービス株式会社及び株式会社新生ビジネスパートナーズが行う外壁塗装工事等の役務の取引に関する注意喚起	新生ホームサービス株式会社（以下「新生ホームサービス」という。）は、株式会社新生ビジネスパートナーズ（以下「新生ビジネスパートナーズ」といい、新生ホームサービスと併せて「新生ホームサービスら」という。）と連携共同して、消費者宅等、新生ホームサービスの営業所等以外の場所において、外壁塗装等の工事に係る役務を有償で提供する契約（以下「本件役務提供契約」という。）を締結しているところ、本件役務提供契約を締結しない旨の意思を表示した消費者に対し、当該契約の締結について勧誘をしており（再勧誘）、また、本件役務提供契約の締結について勧誘するに際し、実際には当該勧誘の相手方に対する値引きを超える値引きをすることがあるにもかかわらず、あたかも、当該勧誘の相手方に対して提示した値引きを超える値引きをすることがないかのように告げるなど、外壁塗装等の工事に係る役務の対価につき不実のことを告げており（不実告知）、さらに、消費者が本件役務提供契約を締結しない旨の意思を繰り返し表示したにもかかわらず、その後も一方的かつ執拗に勧誘を継続するなど、本件役務提供契約の締結について迷惑を覚えさせるような仕方でも勧誘しており（迷惑勧誘）、これらの行為は、特定商取引法に違反するものであった。 新生ホームサービスらによって行われた上記の特定商取引法に違反する行為は、消費者安全法に規定する消費者の利益を不当に害するおそれのある行為にも該当するところ、日本eリモデル株式会社、株式会社みらい住宅開発紀行及びウィズライフ株式会社（以下「本件3事業者」という。）は、新生ホームサービスとその事業目的を共通にし、新生ビジネスパートナーズの従業員を代表者等としているなど、新生ホームサービスらと共に一連のグループを構成しており、新生ホームサービスらにおいて行われた上記の行為と同様の手口の行為が、本件3事業者において繰り返し行われる可能性が高いと認められた。
2022年 7月28日 (注意喚起)	人気アウトドア用品公式通信販売サイトを装った偽サイトに関する注意喚起	「mont-bell」及び「LOGOS」の各偽サイトの運営者は、それぞれ、ロゴや商品の画像を盗用するなどして、公式通信販売サイトであるかのように装った偽サイトを公開し、SNS 上の広告等を経由してこれらの偽サイトにアクセスした消費者に公式通信販売サイトであると誤認させて商品を注文させ、これにより、注文した商品が届かなかった（消費者を欺く行為）。

実施時期	件 名	内 容
2022年 9月15日 (注意喚起)	1日の作業時間が10分程度の簡単な作業で稼ぐことができるなどと勧誘し副業のガイドブックを消費者に購入させ、その後、電話勧誘により高額なサポートプランを契約させる事業者に関する注意喚起	株式会社レイズ及び株式会社ゼニス（以下「本件2事業者」という。）は、自社でノウハウを考案した「Wake(ウェイク)」、「STELLA(ステラ)」、「cast(キャスト)」等の名称の副業（以下「本件副業」という。）の内容について、本件2事業者のウェブサイト（以下「本件ウェブサイト」という。）において、あたかも、テンプレートをコピーアンドペーストするだけの作業を1日10分程度行うだけで稼ぐことができ、稼げなかった場合でも、支払の名目を問わず「返金保証」により支払った料金が返金されるかのように表示していた。 しかし、本件副業の実際の作業内容は、消費者自身でブログを作成し、そこにアフィリエイト広告を掲載し広告収入を得るものであり、本件ウェブサイトの説明と全く異なるものであった。 また、「返金保証」の対象となるのはガイドブック代金のみであるにもかかわらず、その旨を表示しておらず、そのために有料のサポートプランの申込料金も返金保証の対象となると誤認し有料のサポートプランを契約してしまった消費者、自身による交渉では返金を受けられなかった消費者や、そのような制度はないとの説明を受けた消費者もいた（虚偽・誇大な広告・表示）。 さらに、本件2事業者は、有料のサポートプランの電話勧誘の際、有料のサポートプランの「目標収益」は必ず達成できるなどと説明していたが、本件副業によって当該収益を稼げるかどうかは、アフィリエイト広告を掲載するブログの内容等の事情によって左右されるものであって不確実なものであった（断定的判断の提供）。
2022年 9月20日 (注意喚起)	特定のトランポリンパークを中心に事故が続いています！一施設から注意をされなくても、宙返り等の危険な行為は止めましょうー	「てんとう虫パークBIGSTAGE河内長野店」を中心としたトランポリンパークにおいて、落下や転倒、衝突により骨折や神経損傷等を負う事故が継続的に発生していることから、トランポリンパークで遊ぶ際や施設を選ぶ際の注意点を呼び掛けた。
2022年 10月27日 (注意喚起)	高等学校等のイベントでの使用を目的として注文されるクラスTシャツ等について、納品の遅延を発生させている事業者に関する注意喚起	高等学校等で開催される体育祭や文化祭等のイベントでの使用を目的とするクラスTシャツなどと呼ばれるオリジナルデザインのTシャツ等（以下「本件クラスTシャツ」という。）は、その性質上、特定の日時における高等学校等のイベントでの使用が想定されており、消費者にとって使用日までに納品されることが最も重要な点であるところ、KOMATO株式会社は、本件クラスTシャツの注文を受け付ける際には、使用日までに納品が間に合う旨を伝え注文を確定させ、さらに、使用日近くになり、消費者から使用日までに納品が間に合うのかなどの確認を受けた際にも、「本日発送です」などと使用日までに納品が間に合う旨を回答していた。 しかし、使用日の直前になって「空輸の遅れ」等の理由を説明し、使用日を過ぎてから、本件クラスTシャツの納品を行うことがあった（債務の履行の著しい遅延）。
2022年 11月17日 (注意喚起)	「スマホで簡単 月収100万円」、「定型文を送信した分だけ報酬発生」などとうたう副業のマニュアルを購入させ、ライブ配信希望者のエージェントになるためとして高額なサポートプランを契約させる事業者に関する注意喚起	株式会社クレヴァー及び株式会社カーマイン（以下「本件2事業者」という。）は、本件2事業者のウェブサイト（以下「本件ウェブサイト」という。）において、「7（セブン）」、「マーロン」等の名称の副業（以下「本件副業」という。）の内容は、あたかも、スマホで簡単に、1日最短15分、定型文を送信しただけで報酬が発生し、月収100万円を稼ぐこともできるかのように表示していた。しかし、本件副業の実際の作業内容は、消費者自身でInstagramのアカウントを立ち上げ、情報を発信しながら集客し、フォロワーになった人の中からライブ配信を希望する人を勧誘し、これに応じた人をライブ配信事業者に登録させ、その配信収入の一部が収益になるというものであり、本件ウェブサイトの説明と全く異なるものであった（虚偽・誇大な広告・表示）。 また、本件2事業者は、有料のサポートプランの電話勧誘の際、有料のサポートプランの「収益シュミレーション」金額は必ず達成できるなどと説明していたが、本件副業によって当該収益を稼げるかどうかは、ライブ配信事業者で配信されたライブ配信者の報酬によって左右されるものであって不確実なものであった（断定的判断の提供）。

実施時期	件 名	内 容
2023年 1月27日 (注意喚起)	株式会社日本ハウジングが行う屋根瓦及び漆喰の修理等の役務の取引に関する注意喚起	株式会社リオテック（以下「リオテック」という。）は、営業所等以外の場所である消費者宅において、屋根瓦や漆喰等の屋根の修理に係る役務を有償で提供する契約（以下「本件役務提供契約」という。）を締結しているところ、実際には、本件役務提供契約は、特定商取引法に規定する訪問販売に係る役務提供契約の解除（以下「クーリング・オフ」という。）をすることができるものであるにもかかわらず、本件役務提供契約のクーリング・オフを申し出た消費者に対し、あたかも本件役務提供契約をクーリング・オフすることができないものであるかのように告げるなど、契約の解除に関する事項について不実のことを告げる行為（不実告知）や、事前に連絡をせず、突然、消費者宅を訪れ、消費者宅の屋根について、実際には瓦のずれや防水シートの劣化等の不具合が生じていないにもかかわらず、あたかも当該消費者宅の屋根の瓦や防水シート等について、直ちに修理を必要とする不具合が生じているかのように告げるなど、顧客が役務提供契約の締結を必要とする事情に関する事項について不実のことを告げる行為をしており（不実告知）、さらに、クーリング・オフを妨げるため、本件役務提供契約についてクーリング・オフの通知を送付した消費者に対し、クーリング・オフはできないと大きな声で怒鳴るなど、消費者を威迫して困惑させる行為をしており（威迫困惑による解除妨害）、これらの行為は、特定商取引法に違反するものであった。 リオテックによって行われた上記の特定商取引法に違反する行為は、消費者安全法に規定する消費者の利益を不当に害するおそれのある行為にも該当するところ、埼玉県さいたま市北区に所在する株式会社日本ハウジング（以下「日本ハウジング」という。）は、リオテックとその取り扱う役務を共通にし、リオテックの営業員が日本ハウジングの営業員として営業を行うなどしており、リオテックにおいて行われた上記の行為と同種又は類似の行為が、日本ハウジングにより行われるおそれが高いと認められた。
2023年 2月1日 (注意喚起)	取引デジタルプラットフォーム上で販売されている浄水カートリッジの模倣品に関する注意喚起	取引デジタルプラットフォームである「Amazon.co.jp」において「Uwis Aicna」、「hlfsJP」及び「KK-shop」と、「Yahoo!ショッピング」において「株式会社フビライ」及び「yuty store」と、「楽天市場」において「JOYMODE」及び「安心速達」との店舗名で出店していた各事業者は、家庭用に設置された浄水器の交換用の浄水カートリッジの模倣品を販売する際、浄水器メーカー等が自社製品として販売する浄水器用の浄水カートリッジ（以下「正規品」という。）の型番番号と併せて、商品名や商品画像に「LIXIL」、「INAX」などと表示したり、「LIXIL 交換用」などと説明するなどして、あたかも自身が販売している商品は正規品であるかのように表示し、消費者を誤認させて購入を申し込ませていた（虚偽の広告・表示）。

○資料 7-3 不当景品類及び不当表示防止法の規定に基づく消費者庁の措置命令（2022年度）

公表日	件 名
2022年 4月5日	株式会社W-ENDLESSに対する件（食品の痩身効果に関する不当表示（優良誤認表示））
4月15日	大幸薬品株式会社に対する件（空間除菌用品の効果に関する不当表示（優良誤認表示））
4月27日	株式会社DYMに対する件（就職支援サービスに関する不当表示（優良誤認表示））
5月24日	リプサ株式会社に対する件（食品の主成分値に関する不当表示（優良誤認表示））
5月25日	投てき消火用具の販売事業者5社に対する件（消火用具の消火性能に関する不当表示（優良誤認表示））
6月1日	沖縄特産販売株式会社に対する件（食品に関する不当表示（優良誤認表示））
6月7日	株式会社ココカラケアに対する件（痩身効果又は筋肉増強効果に関する不当表示（優良誤認表示））
6月9日	株式会社あきんどスシローに対する件（回転寿司の販売に関する不当表示（おとり広告））
6月15日	株式会社PMKメディカルラボに対する件（No. 1表示に関する不当表示（優良誤認表示））
7月29日	株式会社北海道産地直送センターに対する件（食品に関する不当表示（有利誤認表示））
9月6日	キリンビバレッジ株式会社に対する件（果実ミックスジュースに関する不当表示（優良誤認表示））
9月9日	株式会社山田養蜂場に対する件（サプリメントの効果に関する不当表示（優良誤認表示））
11月18日	一般社団法人免研アソシエイツ協会に対する件（食品等に関する不当表示（優良誤認表示））
12月23日	カトラリー、ストロー、カップ等の販売事業者2社に対する件、釣り用品の販売事業者1社に対する件、ゴミ袋及びレジ袋の販売事業者2社に対する件、エアガン用BB弾の販売事業者5社に対する件（プラスチック製品の生分解性能に関する不当表示（優良誤認表示））
2023年 1月12日	株式会社バンザンに対する件（No. 1表示に関する不当表示及び期限限定表示に関する不当表示（優良誤認表示及び有利誤認表示））
2月9日	四輪車等の燃費向上効果等を標ぼうする商品の製造販売業者2社に対する件（四輪車等の燃費向上効果等を標ぼうする商品に関する不当表示（優良誤認表示））
2月15日	コンサートの提供事業者3社に対する件（コンサートの座席レイアウトに関する不当表示（優良誤認表示））
3月2日	株式会社5 コーポレーションに対する件（個別指導の料金に関する不当表示（有利誤認表示））

○資料 7-4 不当景品類及び不当表示防止法の規定に基づく消費者庁の課徴金納付命令（2022年度）

公表日	件 名
2022年 6月21日	株式会社レッドスパイスに対する件（携帯型の空間除菌用品に関する不当表示（優良誤認表示））
6月22日	株式会社サプリメント・ワールドに対する件（空間除菌用品の効果に関する不当表示（優良誤認表示））
8月5日	株式会社晋遊舎に対する件（景品類を提供する企画の対象となった懸賞付きパズル雑誌に関する不当表示（優良誤認表示及び有利誤認表示））
8月9日	有限会社ファミリア薬品に対する件（石鹸で肌のシミを消す又は薄くする効果に関する不当表示（優良誤認表示））
9月14日	株式会社アップドラフトに対する件（マイナスイオン発生器の効果に関する不当表示（優良誤認表示））
9月16日	株式会社TBSグロウディアに対する件（EMS機器の痩身効果に関する不当表示（優良誤認表示））
2023年 1月18日	キリンビバレッジ株式会社に対する件（果実ミックスジュースに関する不当表示（優良誤認表示））
1月20日	株式会社CL02 Labに対する件（空間除菌用品の効果に関する不当表示（優良誤認表示））
1月24日	アシスト株式会社に対する件（豊胸効果を謳う食品に関する不当表示（優良誤認表示））
1月27日	株式会社ファイテックに対する件（消火用具の消火性能に関する不当表示（優良誤認表示））
1月27日	株式会社ボネックスに対する件（消火用具の消火性能に関する不当表示（優良誤認表示））
2月8日	ビジョンズ株式会社に対する件（ボディクリームの痩身効果に関する不当表示（優良誤認表示））
2月14日	マクセル株式会社に対する件（空間除菌用品の効果に関する不当表示（優良誤認表示））
3月24日	株式会社シーズコーポレーションに対する件（食品の疾病治療又は予防効果に関する不当表示（優良誤認表示））
3月30日	株式会社アクガレージに対する件（豊胸効果を謳う食品に関する不当表示（優良誤認表示））

○資料 7-5 不当景品類及び不当表示防止法の規定に基づく消費者庁による課徴金納付命令に係る返金計画の認定（2022年度）

事業者名	対象商品・役務	返金実施期間
該当なし		

○資料 7-6 特定商取引に関する法律の規定に基づく消費者庁等の業務停止命令等及び指示並びに業務禁止命令
(2022年度)

実施時期	件 名
2022年 4月27日	訪問販売業者株式会社スマイルレスキューに対する業務停止命令及び指示並びに当該業者の代表取締役に対する業務禁止命令（住宅リフォーム業、電気工事業、ガラス工事業、水道工事業、鍵・錠前の修理等及びハチ・害獣駆除等に係る役務を提供する訪問販売に係る債務不履行、適合性原則違反）
5月26日	訪問販売業者サンパワージャパン合同会社に対する業務停止命令及び指示並びに当該業者の代表社員に対する業務禁止命令（消費者に販売したソーラーパネルを消費者から賃借（リース）した上で、当該ソーラーパネルに関し電力会社から得た売電収入からリース料を支払うと称する役務を提供する訪問販売に係る役務の内容についての不実告知、債務の履行拒否）
5月26日	訪問販売業者株式会社M & iに対する業務停止命令及び指示並びに当該業者の代表取締役に対する業務禁止命令（消費者に販売したソーラーパネルを消費者から賃借（リース）した上で、当該ソーラーパネルに関し電力会社から得た売電収入からリース料を支払うと称する役務を提供する訪問販売に係る役務の内容についての不実告知、債務の履行拒否）
5月26日	訪問販売業者株式会社A・LIKEに対する業務停止命令及び指示並びに当該業者の代表取締役に対する業務禁止命令（消費者に販売したソーラーパネルを消費者から賃借（リース）した上で、当該ソーラーパネルに関し電力会社から得た売電収入からリース料を支払うと称する役務を提供する訪問販売に係る役務の内容についての不実告知、債務の履行拒否）
6月29日	訪問販売業者新生ホームサービス株式会社に対する業務停止命令及び指示並びに当該業者の役員1名に対する業務禁止命令（外壁塗装工事等に係る役務を提供する訪問販売に係る氏名等の明示義務違反（勧誘目的及び役務の種類の不実告知）、再勧誘、役務の対価についての不実告知、迷惑勧誘）
6月29日	訪問販売業者株式会社新生ビジネスパートナーズに対する業務停止命令及び指示（外壁塗装工事等に係る役務を提供する訪問販売に係る氏名等の明示義務違反（勧誘目的及び役務の種類の不実告知）、再勧誘、役務の対価についての不実告知、迷惑勧誘）
9月29日	電話勧誘販売業者株式会社一製業に対する業務停止命令及び指示並びに当該業者の役員に対する業務禁止命令（「縁」（えにし）と称する健康食品等の電話勧誘販売に係る氏名等の明示義務違反（勧誘目的の不明示）、契約を締結しない旨の意思を表示した者に対する勧誘、商品の効能についての不実告知、商品の価格についての不実告知）
10月13日	連鎖販売業者日本アムウェイ合同会社に対する取引等停止命令及び指示（健康食品及び化粧品等を含む家庭用日用品等の連鎖販売取引に係る氏名等の明示義務違反（統括者の名称及び勧誘目的の不明示）、勧誘目的を告げずに誘引した者に対する公衆の出入りしない場所における勧誘、迷惑勧誘、概要書面不交付）
2023年 1月26日	訪問販売業者株式会社リオテックに対する業務停止命令及び指示並びに当該業者の代表取締役及び役員に対する業務禁止命令（屋根瓦及び漆喰の修理等に係る役務を提供する訪問販売に係る書面の交付義務違反（記載不備）、契約の解除に関する事項についての不実告知、契約の締結を必要とする事情に関する事項についての不実告知、契約の解除を妨げるため人を威迫して困惑させる行為）
3月29日	連鎖販売業者株式会社ゼロモバイルに対する取引等停止命令及び指示並びに当該事業者の役員2名に対する業務禁止命令（移動電気通信サービスに係る役務を提供する連鎖販売取引に係る氏名等の明示義務違反（統括者の名称、勧誘目的及び役務の種類の不明示）、事実不告知（役務内容）、公衆の出入りしない場所における勧誘、断定的判断の提供、概要書面不交付、契約書面不交付）
3月29日	連鎖販売業者株式会社センターモバイルに対する取引等停止命令及び指示（移動電気通信サービスに係る役務を提供する連鎖販売取引に係る氏名等の明示義務違反（統括者の名称、勧誘目的及び役務の種類の不明示）、事実不告知（役務内容）、公衆の出入りしない場所における勧誘、断定的判断の提供、概要書面不交付、契約書面不交付）
3月29日	連鎖販売業者一般社団法人ライフラインプランナー協会に対する取引等停止命令及び指示（移動電気通信サービスに係る役務を提供する連鎖販売取引に係る氏名等の明示義務違反（統括者の名称、勧誘目的及び役務の種類の不明示）、事実不告知（役務内容）、公衆の出入りしない場所における勧誘、断定的判断の提供、概要書面不交付、契約書面不交付）

（備考） 特定商取引法の規定に基づく消費者庁等の業務停止命令等及び指示並びに業務禁止命令については、地方経済産業局等による処分を含む。

○資料 7-7 預託等取引に関する法律の規定に基づく消費者庁等の取引停止命令及び措置命令並びに業務禁止命令（2022年度）

実施時期	件 名
	該当なし

○資料 7-8 特定電子メールの送信の適正化等に関する法律の規定に基づく消費者庁の措置命令（2022年度）

実施時期	件 名
	該当なし

○資料 7-9 食品表示法の規定に基づく消費者庁の指示・命令（2022年度）

実施時期	件 名
2022年 5月24日	リプサ株式会社に対する食品表示法に基づく指示について
11月18日	一般社団法人免研アソシエイツ協会に対する食品表示法に基づく指示について

○資料 7-10 健康増進法に基づく消費者庁の勧告（2022年度）

実施時期	件 名
	該当なし

○資料7-11 消費者庁から関係機関等へ対応要求等を行ったもの（2022年度）
（資料7-1から7-10に該当するものを除く。）

実施時期	件 名	内 容
2022年 5月13日	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する要請について	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示のおそれのある文言を含む表示をしていた事業者に対し、表示の改善を要請するとともに、ショッピングモール運営事業者にも協力を要請。（2022年1月～2022年3月：改善要請117件（事業者98件））
6月2日	食品表示の適正化に向けた取組について（夏期一斉取締り）	食品衛生の監視指導の強化が求められる夏期における食品表示の適正化に向けた取組の一環として、都道府県等に対し、啓発パンフレット等を活用したカンピロバクター食中毒の予防対策に関する周知啓発、食中毒等の健康被害発生時に食品表示法の規定に関する遡及確認等、関係機関での連携調査の実施、啓発パンフレット等を活用した原料原産地表示制度の普及啓発の協力依頼等を通知。
9月12日	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する要請について	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示のおそれのある文言を含む表示をしていた事業者に対し、表示の改善を要請するとともに、ショッピングモール運営事業者にも協力を要請。（2022年4月～2022年6月：改善要請202件（事業者201件））
11月1日	食品表示の適正化に向けた取組について（年末一斉取締り）	食品衛生の監視指導の強化が求められる年末における食品表示の適正化に向けた取組の一環として、都道府県等に対し、訪日等外国人向け食物アレルギーに係る食品表示啓発ツールの活用に関する普及啓発、食中毒等の健康被害発生時に食品表示法の規定に関する遡及確認等、関係機関での連携調査の実施、遺伝子組換え食品に関する表示制度の周知啓発の協力依頼等を通知。
11月2日	こどもがゴーカート等の乗り物を運転する施設の安全点検について	2022年9月に発生したイベント会場でのゴーカートによる事故を受け、内閣官房こども家庭庁設立準備室及び消費者庁において、スポーツ庁を通じて（一社）日本自動車連盟（JAF）に、カート施設等の安全点検及び安全対策の徹底等を要請。また、ゴーカートなどこども自身が運転できる乗り物が遊戯施設や都市公園等にも設置されていることから、関係省庁（経済産業省、国土交通省）を通じ関連施設等に対して自主的な点検を要請。
11月28日	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する改善指導について	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示のおそれのある文言を含む表示をしていた事業者に対し、表示の改善指導を行うとともに、ショッピングモール運営事業者にも協力を依頼。（2022年7月～2022年9月：改善指導207件（事業者206件））
2023年 2月27日	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する改善指導について	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示のおそれのある文言を含む表示をしていた事業者に対し、表示の改善指導を行うとともに、ショッピングモール運営事業者にも協力を依頼。（2022年10月～2022年12月：改善指導231件（事業者230件））

○資料7-12 消費者安全法の規定に基づく消費者安全調査委員会の報告書等（2022年度）（報告書）

公表時期	件 名
2022年 6月23日	トランポリンパーク等での事故（経過報告）
7月26日	エステサロン等でのHIFU（ハイフ）による事故（経過報告）
2023年 3月3日	学校の施設又は設備による事故等（報告書・意見）
3月29日	エステサロン等でのHIFU（ハイフ）による事故（報告書・意見）

資料8 各種情報提供

○資料8-1 消費者庁が実施した安全に関する注意喚起（2022年度）

実施時期	件 名
2022年 4月26日	トランポリンパークでの事故が続いています！ —施設の注意事項・禁止事項等をよく確認し、安全に遊ぶようにしましょう—
5月31日	若者の除毛剤による皮膚障害に注意！ —顔面には使用しないで！使用方法とともに、契約内容も必ず確認を！—
7月20日	子どもの水の事故を防ごう！ —7月25日は「世界溺水防止デー」、予防策を再確認して行動を！—
7月20日	子どもの転落事故に注意！ —落ちるまではあつという間です。事前の対策で事故防止を —
8月26日	携帯発電機・カセットこんろ・モバイルバッテリーの使用にご注意ください —発電機は屋内で絶対に使用しないでください。死亡事故も発生しています。—
10月7日	眼鏡の不適合による体調不良等に注意！ —眼鏡は処方箋をもとに作製し、目の健康を守りましょう—
12月2日	こども自身が運転するゴーカートなどの乗り物での事故に注意！ —保護者と共に安全な施設等を選び、ルールを守って正しく利用しましょう—
12月22日	「除雪機の死亡事故」7割が誤使用・不注意 ～“安全機能ONとエンジンOFF”が生死の分かれ目～
12月27日	年末年始に増加する高齢者の事故に注意しましょう！ —浴室での溺水事故、餅による窒息事故、掃除中・除雪中の転倒・転落事故等に注意—

（備考） 消費者安全法の規定に基づく注意喚起を除く。

○資料8-2 子ども安全メールfrom消費者庁の配信（2022年度）

実施時期	件 名
2022年 4月8日	抱っこひもからの転落や窒息に注意！
4月18日	ショッピングカートからの転落に注意！
4月28日	ブラインドやカーテンのひも等による窒息事故に注意しましょう！
5月9日	窓やベランダからの転落に注意！
5月18日	リング状の物や穴に指がはまる事故に注意！
5月27日	たばこの誤飲にご注意！
6月8日	子どもの熱中症対策を心がけましょう！
6月17日	梅雨の時期、ぬれた場所での転倒に注意！
6月28日	水の事故に注意— 子どもだけで水に近づく危険な状況を減らして見守りを！
7月8日	ドラム式洗濯乾燥機内の閉じ込め事故に注意！
7月20日	7月25日から7月31日は「子どもの事故防止週間」！
7月28日	バーベキュー時の事故に注意！
8月8日	エスカレーターでの事故に注意！
8月18日	子ども服、安全性を意識して選んでいますか？
8月29日	耳や鼻などに異物が詰まる事故にご注意！
9月8日	9月4日から9月10日は「救急医療週間」— もしもの時の応急手当方法について確認を！
9月16日	正しく使用していますか？ チャイルドシート
9月28日	キッズデザイン賞とマークの意味
10月6日	折りたたみ式の踏み台—隙間で指を挟む事故に注意！
10月18日	はさみなどの刃物で子どもがけがをしないために！
10月28日	就寝時の窒息事故に気を付けましょう
11月7日	転落に注意！ — 窓やベランダ周りを今一度確認を！
11月18日	入浴補助の「便利グッズ」ではありません — 首浮き輪で死亡事故も —
11月28日	暖房器具などによるやけどに注意！

実施時期	件 名
11月29日	インターネット経由で購入する際、安全でない製品から身を守るために購入前後に何を確認すればよいかわかっていますか？
12月 8 日	キッチンでの包丁などの刃物によるけがに注意！
12月19日	掃除中の事故に気を付けて！
12月28日	アルコール飲料などの誤飲に注意！
2023年 1月10日	ノロウイルスは「持ち込まない・つけない・やっつける・拡げない」
1月18日	コンセントやプラグでの感電に注意！
1月24日	節分は窒息・誤嚥に注意！ 硬い豆やナッツ類は5歳以下の子どもには食べさせないで！
2月 8 日	熱い食べ物や飲み物などによるやけどに御注意ください！
2月17日	誤飲による中毒事故を起こさないようにするために
2月28日	耳掃除中のけがに注意！
3月 8 日	魚の骨が刺さる事故に注意！～魚の骨が刺さらないための工夫～
3月17日	幼児を乗せた自転車での事故に注意！
3月28日	公園等の遊具からの転落事故などに気を付けましょう！

（備考）「子ども安全メールfrom消費者庁」の2023年3月末現在の登録者数は約2万4000人である。

○資料8-3 消費者庁が実施した表示・取引に関する情報提供（2022年度）

実施時期	件 名
2022年 5月27日	それって販売預託では？悪質な「販売預託商法」にご注意を！
6月22日	住宅リフォーム事業者の皆様へ
6月22日	悪質な住宅リフォームの訪問販売に御注意ください
9月 9 日	新型コロナウイルスの抗原定性検査キットは国が承認した「体外診断用医薬品」を選んでください！ ※1
10月 7 日	省エネルギーフォームをお考えの際は悪質なリフォーム事業者にご注意ください！！
10月14日	こんなところから・・・マルチ商法の勧誘に！？
12月22日	儲け話の注意喚起をお願いします！
2023年 3月27日	「販売預託」は原則禁止！！違法な「販売預託商法」にご注意を！！

（備考） 1. 消費者安全法の規定に基づく注意喚起を除く。
2. ※1は厚生労働省と連名にて注意喚起を実施。

○資料8-4 事業者自ら家庭用品品質表示法上の不適正表示があったとの申出に基づく注意喚起⁶（2022年度）

件 名
株式会社九州大和（湯沸かしの不適正表示について）

6）事業者自ら家庭用品品質表示法上の不適正表示があったとの申出に基づき、消費者への注意喚起を消費者庁ウェブサイトに掲載。

○資料8-5 食品と放射性物質に関するリスクコミュニケーション（意見交換会等）の開催実績（2022年度）

月 日	意見交換会等名称	主催（共催）	場 所
2022年 5月10日	食と放射能に関する説明会	福島県、福島県学校給食会、消費者庁	福島県双葉郡浪江町
6月13日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業 クオオフィバント	福島県、消費者庁	福島県福島市
6月18日	「オンラインツアー」首都圏等消費者交流 事業（第1回：ふくしまのお肉コース）	福島県、消費者庁	福島県福島市
6月25日	「オンラインツアー」首都圏等消費者交流 事業（第2回：ふくしまのお肉コース）	福島県、消費者庁	福島県福島市
7月2日～ 7月3日	「モニターツアー」首都圏等消費者交流事 業（第1回：ふくしまのお肉コース）	福島県、消費者庁	福島県郡山市他
7月13日	食品中の放射性物質のこれからを考える （産業医科大学）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、産業医科大学	福岡県北九州市大学
7月23日	「オンラインツアー」首都圏等消費者交流 事業（第3回：ふくしまのももコース）	福島県、消費者庁	福島県福島市
7月24日	「オンラインツアー」関西圏等消費者交流 事業（第1回：食べ旅ふくしまONLINE 桃の旅）	福島県、消費者庁	福島県福島市
7月25日	食と放射能に関する説明会	福島県、郡山給食サポートチーム、消費者庁	福島県郡山市
7月26日	食と放射能に関する説明会	福島県、子育て世代の会、消費者庁	福島県福島市
7月28日	食と放射能に関する説明会	福島県、郡山給食サポートチーム、消費者庁	福島県郡山市
7月29日	食と放射能に関する説明会	福島県、尚志学園尚志高等学校、消費者庁	福島県福島市
7月30日	「オンラインツアー」首都圏等消費者交流 事業（第4回：ふくしまのももコース）	福島県、消費者庁	福島県福島市
8月1日	食と放射能に関する説明会	福島県、郡山給食サポートチーム、消費者庁	福島県郡山市
8月2日	食と放射能に関する説明会	福島県、福島地区電気工事協同組合、消費者庁	福島県福島市
8月6日～ 8月7日	「モニターツアー」首都圏等消費者交流事 業（第2回：ふくしまのももコース）	福島県、消費者庁	福島県福島市他
8月6日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、堀富商工株式会社、消費者庁	大阪府堺市
8月10日	食と放射能に関する説明会	福島県、郡山給食サポートチーム、消費者庁	福島県郡山市
8月19日	食と放射能に関する説明会	福島県、郡山給食サポートチーム、消費者庁	福島県郡山市
8月20日	「オンラインツアー」首都圏等消費者交流 事業（第5回：ふくしまのももコース）	福島県、消費者庁	福島県福島市
8月22日	食と放射能に関する説明会	福島県、子育て世代応援団、消費者庁	福島県郡山市
8月24日	食と放射能に関する説明会	福島県、子育て世代応援団、消費者庁	福島県郡山市
8月26日	第15回放射性物質検査に関する全国研修会	独立行政法人国民生活センター、消費者庁	神奈川県相模原市
8月27日～ 8月28日	「モニターツアー」首都圏等消費者交流事 業（第3回：ふくしまのももコース）	福島県、消費者庁	福島県福島市他
8月27日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、公益社団法人全国消費生活相談員協会、消費者庁	東京都中央区
8月30日	食と放射能に関する説明会	福島県、株式会社クレハ分析センター、消費者庁	福島県いわき市
8月30日	食と放射能に関する説明会	福島県、福島大学付属小学校、消費者庁	福島県福島市
9月2日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、国際学園星槎国際高等学校、消費者庁	神奈川県小田原市

月 日	意見交換会等名称	主催（共催）	場 所
9月6日	食と放射能に関する説明会	福島県、一般社団法人福島県環境測定・放射能計測協会、消費者庁	福島県双葉郡浪江町
9月6日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、長野県長野保健福祉事務所、消費者庁	長野県長野市
9月7日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、長野県長野保健福祉事務所、消費者庁	長野県長野市
9月9日	食と放射能に関する説明会	福島県、南相馬市立原町第三小学校（4年1組）、消費者庁	福島県南相馬市
9月9日	食と放射能に関する説明会	福島県、南相馬市立原町第三小学校（4年2組）、消費者庁	福島県南相馬市
9月10日	「オンラインツアー」首都圏等消費者交流事業（第6回：ふくしまの海の幸（秋）コース）	福島県、消費者庁	福島県相馬市
9月13日	食と放射能に関する説明会	福島県、郡山市立赤木小学校、消費者庁	福島県郡山市
9月15日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、西宮市立西宮高等学校、消費者庁	兵庫県西宮市
9月16日	食と放射能に関する説明会	福島県、南相馬市立原町第三小学校（6年1組）、消費者庁	福島県南相馬市
9月16日	食と放射能に関する説明会	福島県、南相馬市立原町第三小学校（6年2組）、消費者庁	福島県南相馬市
9月17日	食と放射能に関する説明会	福島県、食と安全サポートチーム、消費者庁	福島県郡山市
9月17日	「オンラインツアー」首都圏等消費者交流事業（第7回：ふくしまの海の幸（秋）コース）	福島県、消費者庁	福島県相馬市
9月24日	「オンラインツアー」関西圏等消費者交流事業（第2回：食べ旅ふくしまONLINE トマトの旅）	福島県、消費者庁	福島県福島市
9月28日	食と放射能に関する説明会	福島県、南相馬市立原町第三小学校（5年1組）、消費者庁	福島県南相馬市
9月28日	食と放射能に関する説明会	福島県、南相馬市立原町第三小学校（5年2組）、消費者庁	福島県南相馬市
9月28日	食と放射能に関する説明会	福島県、南相馬市立原町第三小学校（5年3組）、消費者庁	福島県南相馬市
9月29日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、学校法人四天王寺学園四天王寺東中学校、消費者庁	大阪府藤井寺市
10月1日	食と放射能に関する説明会	福島県、株式会社まち工房たなぐら、消費者庁	福島県東白川郡棚倉町
10月14日	食と放射能に関する説明会	福島県、放課後児童クラブこどもすたあ、消費者庁	福島県郡山市
10月15日	食と放射能に関する説明会	福島県、エクセルツリー株式会社（1回目）、消費者庁	福島県郡山市
10月15日	食と放射能に関する説明会	福島県、エクセルツリー株式会社（2回目）、消費者庁	福島県郡山市
10月14日～10月15日	「モニターツアー」首都圏等消費者交流事業（第4回：ふくしまの海の幸（秋）コース）	福島県、消費者庁	福島県相馬市他
10月21日～10月22日	「モニターツアー」首都圏等消費者交流事業（第5回：ふくしまの海の幸（秋）コース）	福島県、消費者庁	福島県相馬市他
10月23日	学研キッズフェス2022秋	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省	東京都品川区
10月27日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、大阪府立泉北高等学校、消費者庁	大阪府堺市

月 日	意見交換会等名称	主催（共催）	場 所
10月29日	「オンラインツアー」関西圏等消費者交流事業（第3回：食べ旅ふくしまONLINE 漁師メシの旅）	福島県、消費者庁	福島県福島市
10月29日	食と放射能に関する説明会	福島県、下川を考える会、消費者庁	福島県いわき市
10月30日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、一般社団法人大分県労働者福祉協議会、消費者庁	大分県大分市
11月4日	食品中の放射性物質のこれからを考える（立命館大学）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、立命館大学	滋賀県草津市
11月5日	「オンラインツアー」首都圏等消費者交流事業（第8回：ふくしまのお米・日本酒コース）	福島県、消費者庁	福島県福島市
11月7日	食と放射能に関する説明会	福島県、浪江町懇談会、消費者庁	福島県双葉郡浪江町
11月8日	食と放射能に関する説明会	福島県、三島町立三島小学校（1・2年生）、消費者庁	福島県大沼郡三島町
11月8日	食と放射能に関する説明会	福島県、三島町立三島小学校（3・4年生）、消費者庁	福島県大沼郡三島町
11月8日	食と放射能に関する説明会	福島県、三島町立三島小学校（5・6年生）、消費者庁	福島県大沼郡三島町
11月9日	食と放射能に関する説明会	福島県、二本松市立原瀬小学校（1・2年生）、消費者庁	福島県二本松市
11月9日	食と放射能に関する説明会	福島県、二本松市立原瀬小学校（3年生）、消費者庁	福島県二本松市
11月9日	食と放射能に関する説明会	福島県、二本松市立原瀬小学校（4・5年生）、消費者庁	福島県二本松市
11月9日	食と放射能に関する説明会	福島県、二本松市立原瀬小学校（6年生）、消費者庁	福島県二本松市
11月9日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、大阪市立新北野中学校、消費者庁	大阪府大阪市
11月10日	食品中の放射性物質のこれからを考える（東京農業大学）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、東京農業大学	東京都世田谷区
11月16日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、摂南大学農学部、消費者庁	大阪府枚方市
11月16日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、大阪府立高石高等学校、消費者庁	大阪府高石市
11月12日～11月13日	Farm Love with ファーマーズ＆キッズフェスタ2022	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省	東京都千代田区
11月18日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、野沢温泉村、消費者庁	長野県下高井郡野沢温泉村
11月18日	食と放射能に関する説明会	福島県、放課後児童クラブこどもすたあ、消費者庁	福島県郡山市
11月19日	「オンラインツアー」関西圏等消費者交流事業（第4回：食べ旅ふくしまONLINE 日本酒の旅）	福島県、消費者庁	福島県福島市
11月21日	令和4年度 第2回放射線の健康影響等に関する研修会	福島県、環境省、福島県教育委員会、消費者庁	福島県郡山市
11月21日	食と放射能に関する説明会	福島県、株式会社クレハ環境、消費者庁	福島県いわき市
11月21日	食と放射能に関する説明会	福島県、ひめゆり総業株式会社、消費者庁	福島県いわき市
11月21日	食と放射能に関する説明会	福島県、郡山市立西田学園、消費者庁	福島県郡山市
11月22日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、大阪府教育センター附属高等学校、消費者庁	大阪府大阪市
11月23日	食と放射能に関する説明会	福島県、福島キワニスクラブ、消費者庁	福島県福島市
11月24日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、関西大学、消費者庁	大阪府吹田市

月 日	意見交換会等名称	主催（共催）	場 所
11月25日	食と放射能に関する説明会	福島県、放課後児童クラブこどもすたあ、消費者庁	福島県郡山市
11月28日	食品中の放射性物質のこれからを考える（東京会場）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	東京都千代田区
11月29日	食と放射能に関する説明会	福島県、大和自動車交通株式会社、消費者庁	福島県福島市
11月30日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、認定特定非営利活動法人シニア自然大学校、消費者庁	大阪府大阪市
11月30日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、甲府市、消費者庁	山梨県甲府市
11月30日	食と放射能に関する説明会	福島県、郡山市立明健小学校（3年1組）、消費者庁	福島県郡山市
11月30日	食と放射能に関する説明会	福島県、郡山市立明健小学校（3年2組）、消費者庁	福島県郡山市
12月5日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、東京都生活協同組合連合会、消費者庁	東京都中野区
12月6日	食と放射能に関する説明会	福島県、東日本国際大学附属昌平中学・高等学校、消費者庁	福島県いわき市
12月7日	食と放射能に関する説明会	福島県、磐梯町立磐梯中学校（1年生）、消費者庁	福島県耶麻郡磐梯町
12月7日	食と放射能に関する説明会	福島県、磐梯町立磐梯中学校（2年生）、消費者庁	福島県耶麻郡磐梯町
12月7日	食と放射能に関する説明会	福島県、磐梯町立磐梯中学校（3年生）、消費者庁	福島県耶麻郡磐梯町
12月8日	食と放射能に関する説明会	福島県、東日本国際大学附属昌平中学・高等学校、消費者庁	福島県いわき市
12月9日	食と放射能に関する説明会	福島県、放課後児童クラブこどもすたあ、消費者庁	福島県郡山市
12月9日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、大阪市立東淀中学校、消費者庁	大阪府大阪市
12月10日	「オンラインツアー」関西圏等消費者交流事業（第5回：食べ旅ふくしまONLINE 冬の絶品味わいづくしの旅）	福島県、消費者庁	福島県福島市
12月12日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、川西市立明峰中学校、消費者庁	兵庫県川西市
12月14日	食品中の放射性物質のこれからを考える（大阪会場）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、大阪府	大阪府大阪市
12月16日	食と放射能に関する説明会	福島県、棚倉町老人クラブ連合会、消費者庁	福島県東白川郡棚倉町
12月17日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、吹田母子会、消費者庁	大阪府吹田市
12月20日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、兵庫県立小野高等学校、消費者庁	兵庫県小野市
12月21日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、大阪市立佃中学校、消費者庁	大阪府大阪市
12月23日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、船橋市消費生活センター、消費者庁	千葉県船橋市
2023年 1月11日	食と放射能に関する説明会	福島県、認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード、消費者庁	福島県福島市
1月15日	Learn Marche ～太平洋（岩手・宮城・福島・茨城）のいまを知って、おいしさ実感！～	消費者庁、内閣府食品安全委員会、復興庁、農林水産省、経済産業省	神奈川県横浜市
1月17日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、近畿大学泉州高等学校、消費者庁	大阪府岸和田市
1月18日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、川西市立東谷中学校、消費者庁	兵庫県川西市
1月18日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、門真市立第二中学校、消費者庁	大阪府門真市
1月19日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、大阪府立藤井寺高等学校、消費者庁	大阪府藤井寺市
1月20日	食と放射能に関する説明会	福島県、放課後児童クラブこどもすたあ、消費者庁	福島県郡山市

月 日	意見交換会等名称	主催（共催）	場 所
1月22日	Learn Marche ～太平洋（岩手・宮城・福島・茨城）のいまを知って、おいしさ実感！～	消費者庁、内閣府食品安全委員会、復興庁、農林水産省、経済産業省	東京都墨田区
1月24日	食品中の放射性物質のこれからを考える（東日本国際大学）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、東日本国際大学	福島県いわき市
1月24日	食と放射能に関する説明会	福島県、会津大学短期大学部、消費者庁	福島県会津若松市
1月24日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、門真市立第四中学校、消費者庁	大阪府門真市
1月25日	食と放射能に関する説明会	福島県、福島県立郡山北工業高等学校、消費者庁	福島県郡山市
1月26日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、大阪府立住吉商業高等学校、消費者庁	大阪府大阪市
1月26日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、大阪府立泉大津高等学校、消費者庁	大阪府泉大津市
1月27日	食と放射能に関する説明会	福島県、たんぼぼ保育園、消費者庁	福島県田村市
1月28日	「オンラインツアー」首都圏等消費者交流事業（第9回：ふくしまの海の幸（冬）コース）	福島県、消費者庁	福島県福島市
2月1日	食と放射能に関する説明会	福島県、たんぼぼ保育園、消費者庁	福島県田村市
2月2日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、吹田市立豊津西中学校、消費者庁	大阪府吹田市
2月4日	「オンラインツアー」首都圏等消費者交流事業（第10回：ふくしまの海の幸（冬）コース）	福島県、消費者庁	福島県福島市
2月8日	食と放射能に関する説明会	福島県、伊達市立栗野小学校、消費者庁	福島県伊達市
2月9日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、門真市立第七中学校、消費者庁	大阪府門真市
2月9日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、堺市立殿馬場中学校、消費者庁	大阪府堺市
2月10日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、松原市立松原第五中学校、消費者庁	大阪府松原市
2月10日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、大阪市立大正西中学校、消費者庁	大阪府大阪市
2月14日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、株式会社ＪＴＢ（KPC）、消費者庁	東京都新宿区
2月14日	食と放射能に関する説明会	福島県、南相馬市立上真野小学校、消費者庁	福島県南相馬市
2月17日	食と放射能に関する説明会	福島県、放課後児童クラブこどもすたあ、消費者庁	福島県郡山市
2月20日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、笹川平和財団、消費者庁	東京都港区
2月21日	食と放射能に関する説明会	福島県、田島ロータリークラブ、消費者庁	福島県南会津郡南会津町
2月21日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、大阪市立白鷺中学校、消費者庁	大阪府大阪市
2月24日	食と放射能に関する説明会	福島県、三春町立中妻小学校、消費者庁	福島県田村郡三春町
3月3日	食と放射能に関する説明会	福島県、福島市立蓬莱小学校（１年生）、消費者庁	福島県福島市
3月3日	食と放射能に関する説明会	福島県、福島市立蓬莱小学校（２年生）、消費者庁	福島県福島市
3月3日	食と放射能に関する説明会	福島県、福島市立蓬莱小学校（３年生）、消費者庁	福島県福島市
3月3日	食と放射能に関する説明会	福島県、福島市立蓬莱小学校（４年生）、消費者庁	福島県福島市
3月4日	「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業	福島県、公益社団法人全国消費生活相談員協会、消費者庁	東京都中央区

資料9 国民生活センターによる情報提供（2022年度）

実施時期	件 名
2022年 4月11日	【若者向け注意喚起シリーズ〈No. 11〉】 電気代が安くなる！？電力契約の訪問販売トラブル
4月11日	ウクライナ情勢を悪用した手口にご注意！（No. 2） —貴金属の訪問購入トラブル等—
4月14日	SNSでPRをすれば商品代金やサービス利用料が無料になる？！ —「キャッシュバックで実質無料」「自己負担なし」などの勧誘に注意—
4月21日	「パーソナル筋力トレーニング」でのけがや体調不良に注意！ —コロナ禍でより高まる健康志向や運動不足解消の意外な落とし穴！？—
4月26日	このままでは固定電話が使えなくなる！？それって光回線の“便乗”勧誘かも —固定電話のIP網移行に伴う利用者側での手続きは不要です—
5月26日	雑音で音声聞き取りにくい耳かけ集音器（相談解決のためのテストからNo. 164）
5月26日	組成表示が異なっていた婦人パジャマ（相談解決のためのテストからNo. 165）
5月26日	一度に中身がすべて噴出したスプレー缶（相談解決のためのテストからNo. 166）
6月9日	「おトクにお試しだけ」のつもりが「定期購入」に！？ —「詐欺的な定期購入商法」の規制が強化された改正特定商取引法が施行されました！—
6月16日	被災地域は特に注意！災害後の住宅修理トラブル
6月16日	「消費者トラブルメール箱」2021年度のまとめ
6月16日	国民生活センターと消費者庁をかたる偽ハガキにご注意ください ※1
6月23日	国民生活センターADRの実施状況と結果概要について（令和4年度第1回）
6月27日	ウクライナ情勢を悪用した手口にご注意！（No. 3） —送金依頼や書籍の強引な販売トラブル等—
7月13日	契約内容や契約先の事業撤退に伴う対応についての相談が寄せられています ※2
7月14日	急増！海産物の電話勧誘販売・送り付けトラブル —「新型コロナウイルスの影響で収入が減って困っている」という電話に注意！—
7月21日	【若者向け注意喚起シリーズ〈No. 12〉】男性も増加！脱毛エステのトラブル
7月21日	「おトクにお試しだけ」のつもりが「定期購入」に！？（No. 1） —電子タバコや医薬品でも！！—
7月21日	乳児の首にひもが絡まった昼寝用マット（相談解決のためのテストからNo. 167）
8月4日	SNSやマッチングアプリ、友人・知人からの誘いをきっかけとした暗号資産のトラブル —その話、うのみにしないで—
8月4日	“押し”に会えない！？転売チケットの購入トラブルが急増中！
8月9日	PIO-NETにみる2021年度の消費生活相談の概要
8月9日	2021年度の越境消費者相談の概要 —越境消費者センター（CCJ）で受け付けた相談から—
8月9日	2021年度訪日観光客消費者ホットラインに寄せられた相談のまとめ
9月7日	まさか自分が著作権侵害？！ —ファイル共有ソフトの安易な使用には危険がいっぱい！—
9月7日	【「おトクにお試しだけ」のつもりが「定期購入」に！？（No. 2）】 注文直後に表示された「特別割引クーポン」を利用したら、いつの間にかコース内容が変わっていた！？
9月7日	PIO-NETにみる2021年度の危害・危険情報の概要
9月14日	高齢者とそのまわりの方に気を付けてほしい消費者トラブル 最新10選
9月14日	強力な磁力を持つネオジム磁石製のマグネットセットの誤飲事故が再発！
9月21日	テレビ画面の破損に気を付けましょう！ —破損や水ぬれにより高額な修理費用がかかることも—
9月21日	新型コロナウイルス感染のセルフチェックには国が承認した抗原定性検査キットを！ —購入時には薬剤師から説明を受けて正しく使用しましょう—
9月21日	国民生活センターADRの実施状況と結果概要について（令和4年度第2回）
10月5日	樹脂製の折りたたみ式踏み台での指挟みに注意—乳幼児が手指の先を切断する事故が発生しています—
10月12日	模倣品に関するトラブルにご注意！—令和4年10月から水際取締りが強化されました—
11月2日	不用品回収サービスのトラブル —市区町村から一般廃棄物処理業の許可を受けず、違法に回収を行う事業者にご注意！—

実施時期	件 名
11月16日	こどもを抱っこして自転車に乗ることは危険ですー転倒・転落によりこどもが頭部に重篤なけがをするこ ともー
11月16日	購入時から不具合のあった自転車のギヤクランク（相談解決のためのテストからNo. 168）
11月16日	ペットボトル飲料の入った梱包箱の持ち方に注意（相談解決のためのテストからNo. 169）
11月24日	海産物の電話勧誘販売・送り付けトラブルがさらに増えていますー年末にかけて特に注意してください！ー
11月30日	成年年齢引下げ後の18歳・19歳の消費者トラブルの状況（2022年10月末時点）
11月30日	【「おトクにお試しだけ」のつもりが「定期購入」に！？（No. 3）】 テレビショッピングなどをみて電話で注文したら、意図せず「定期購入」に！？ ー「サンプル」「おまとめコース」などを勧められても要注意！ー
11月30日	電熱ウェアの異常発熱に注意ー衣服の焼損、やけどを負った事例もー
12月 7日	高齢者を狙った劇場型勧誘再び！？「老人ホーム入居権」を譲ってほしいという詐欺電話に注意！
12月 7日	シリカやケイ素を摂取できるとうたった飲料、健康食品等に関する調査ーケイ素の摂取は美容や健康に良 い？ー
12月 9日	消費者問題に関する2022年の10大項目
12月21日	「愛してるから投資して」っておかしくない！？ ーマッチングアプリ等で知り合った人に騙されないためのチェックリストー
12月21日	通販サイト、カード会社、宅配便事業者などをかたる偽SMS・メールに警戒を！ ー身近な事業者からの不安なメッセージ、じつは危険な“フィッシング”かもー
12月21日	なくならない乳幼児による加熱式たばこの誤飲に注意ー最近では金属片が内蔵されたスティックの誤飲もー
12月21日	マスクのノーズフィットによる顔などへの傷害にご注意
12月21日	フレームの材質が表示と異なっていたキャンプ用テントー当該品をお持ちの方は販売元にお問い合わせく ださいー
12月21日	国民生活センターADRの実施状況と結果概要について（令和4年度第3回）
2023年 1月18日	スライサーで指先にけがをする事故が多発！
1月18日	突然破裂した健康器具（バランスボール）（相談解決のためのテストからNo. 170）
1月30日	その通販サイト本物ですか！？“偽サイト”に警戒を！！ ー最近の“偽サイト”の見分け方を知って、危険を回避しましょう！ー
2月 1日	愛するペットのための買い物ーインターネットで購入する前に、しっかり確認しましたか？ー
2月 1日	住み始める時から、「いつか出ていく時」に備えておこう！ー賃貸住宅の「原状回復」トラブルにご注意ー
2月 1日	芝が詰まって動かなくなった芝刈り機（相談解決のためのテストからNo. 171）
2月 1日	出てくる風が冷たく感じられない卓上型冷風扇（相談解決のためのテストからNo. 172）
2月22日	吹き出し口が変色したセラミックファンヒーター（相談解決のためのテストからNo. 173）
3月 1日	【若者向け注意喚起シリーズ〈No. 13〉】 初めての一人暮らしで気を付けてほしい5大消費者トラブルー入学・就職など新生活のスタートでつまず かないためにー
3月15日	糖質を低減できるとうたった電気炊飯器の実際
3月15日	顔に色が移ったマスク（相談解決のためのテストからNo. 174）
3月15日	プレートが外れたシャワーヘッド（相談解決のためのテストからNo. 175）
3月15日	「定期購入」トラブル急増！！ー低価格を強調する販売サイトには警戒が必要！ー
3月22日	増加する中古自動車の売却トラブルー強引な勧誘やキャンセル妨害もー
3月22日	「消費生活センターにおける解決困難事例の研究～起業・副業をめぐる消費者トラブルの被害救済を中心 に～」調査報告〈結果・概要〉
3月22日	国民生活センターADRの実施状況と結果概要について（令和4年度第4回）

（備考） ※1は消費者庁と連名で情報提供を実施。

※2は消費者庁、経済産業省電力・ガス取引監視等委員会と連名で情報提供を実施。

資料10 地方消費者行政の現況

○資料10-1 法執行の実施状況（件数）

	都道府県				政令市				合計			
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
景品表示法＊	913	886	774	718	13	3	10	0	926	889	784	718
合理的根拠の提出要求	3	6	0	2	1	0	0	0	4	6	0	2
措置命令＊	9	15	7	4	0	0	1	0	9	15	8	4
その他行政指導	901	865	767	712	12	3	9	0	913	868	776	712
食品衛生法	235	158	88	80	87	94	84	45	322	252	172	125
物品廃棄命令	18	12	9	8	5	6	3	0	23	18	12	8
営業停止命令	170	119	58	59	63	71	59	25	233	190	117	84
営業禁止命令	47	27	21	13	19	17	22	20	66	44	43	33
営業許可取消命令	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康増進法 収去	50	2	1	0	0	0	0	0	50	2	1	0
米トレーサビリティ法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
勧告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
命令	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食品表示法	8,800	17,534	12,607	14,577	5,718	5,407	3,007	3,621	14,518	22,941	15,614	18,198
指示	11	5	38	55	0	1	0	2	11	6	38	57
命令（法第6条第5項）	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
命令（法第6条第8項）	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
収去	8,785	17,529	12,569	14,522	5,718	5,406	3,007	3,619	14,503	22,935	15,576	18,141
家庭用品品質表示法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指示	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公表	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定商取引法＊	73	—	—	—	0	—	—	—	73	—	—	—
指示＊	28	—	—	—	0	—	—	—	28	—	—	—
業務停止命令＊	26	—	—	—	0	—	—	—	26	—	—	—
業務禁止命令	19	—	—	—	0	—	—	—	19	—	—	—
割賦販売法	1	1	0	2	0	0	0	0	1	1	0	2
改善命令	1	1	0	2	0	0	0	0	1	1	0	2
業務停止命令	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
許可・登録取消	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貸金業法	17	9	4	3	0	0	0	0	17	9	4	3
業務改善命令	8	4	1	2	0	0	0	0	8	4	1	2
業務停止命令	8	3	3	1	0	0	0	0	8	3	3	1
登録取消	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
旅行業法	25	21	21	9	0	0	0	0	25	21	21	9
業務改善命令	13	9	2	0	0	0	0	0	13	9	2	0
業務停止命令	12	9	18	5	0	0	0	0	12	9	18	5
登録取消	0	3	1	4	0	0	0	0	0	3	1	4
宅建業法	177	200	158	144	0	0	0	0	177	200	158	144
指示	26	60	30	38	0	0	0	0	26	60	30	38
業務停止命令	31	32	18	25	0	0	0	0	31	32	18	25
免許取消	120	108	110	81	0	0	0	0	120	108	110	81
消費生活関係条例	347	262	345	299	26	28	26	20	373	290	371	319
指導	327	260	328	285	26	27	19	15	353	287	347	300
勧告	12	1	9	6	0	1	6	4	12	2	15	10
公表	8	1	8	7	0	0	1	1	8	1	9	8
禁止命令	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

（備考） 1. 消費者庁「地方消費者行政の現況調査」により作成。ただし、「＊」については、別途集計による件数。
2. 「－」は調査していない項目。

○資料10-2 都道府県、政令市、市区町村等の消費者行政予算（狭義）の合計と自主財源の割合

都道府県名	2022年度			
	合計 (千円)	自主財源 (千円)	基金及び交付金 (千円)	自主財源の割合
北海道	750,560	566,460	184,100	75.5%
青森県	213,361	178,267	35,094	83.6%
岩手県	398,456	347,230	51,226	87.1%
宮城県	264,860	217,138	47,722	82.0%
秋田県	109,669	86,341	23,328	78.7%
山形県	145,074	112,481	32,593	77.5%
福島県	372,323	172,336	199,987	46.3%
茨城県	382,124	336,525	45,599	88.1%
栃木県	261,551	191,345	70,206	73.2%
群馬県	227,200	208,036	19,164	91.6%
埼玉県	720,594	585,705	134,889	81.3%
千葉県	752,416	674,850	77,566	89.7%
東京都	2,072,184	1,927,973	144,211	93.0%
神奈川県	807,353	649,451	157,902	80.4%
新潟県	213,911	149,080	64,831	69.7%
富山県	133,345	118,705	14,640	89.0%
石川県	160,096	126,746	33,350	79.2%
福井県	119,033	101,953	17,080	85.7%
山梨県	148,184	113,982	34,202	76.9%
長野県	225,695	169,288	56,407	75.0%
岐阜県	166,933	138,229	28,704	82.8%
静岡県	368,265	287,502	80,763	78.1%
愛知県	587,134	439,650	147,484	74.9%
三重県	157,302	124,297	33,005	79.0%
滋賀県	173,038	146,580	26,458	84.7%
京都府	266,636	210,059	56,577	78.8%
大阪府	990,926	847,966	142,960	85.6%
兵庫県	606,638	450,995	155,643	74.3%
奈良県	168,815	140,925	27,890	83.5%
和歌山県	138,859	106,540	32,319	76.7%
鳥取県	114,324	101,407	12,917	88.7%
島根県	101,809	76,704	25,105	75.3%
岡山県	231,640	198,003	33,637	85.5%
広島県	276,516	230,605	45,911	83.4%
山口県	135,853	103,212	32,641	76.0%
徳島県	438,498	351,040	87,458	80.1%
香川県	75,490	73,930	1,560	97.9%
愛媛県	121,479	97,808	23,671	80.5%
高知県	108,297	78,353	29,944	72.4%
福岡県	505,354	405,543	99,811	80.2%
佐賀県	116,952	103,000	13,952	88.1%
長崎県	237,549	169,418	68,131	71.3%
熊本県	207,849	155,648	52,201	74.9%
大分県	180,848	142,146	38,702	78.6%
宮崎県	198,200	139,159	59,041	70.2%
鹿児島県	189,451	162,503	26,948	85.8%
沖縄県	157,935	124,682	33,253	78.9%
合計	15,500,579	12,639,796	2,860,783	81.5%

- (備考) 1. 消費者庁「地方消費者行政の現況調査」により作成。
 2. 2022年度は当初予算。
 3. 広域連合及び一部事務組合を含む。
 4. 2014年度の補正予算以降、地方消費者行政活性化交付金（基金）から地方消費者行政推進交付金へ移行し、さらに2018年度の当初予算以降、地方消費者行政強化交付金へ移行している（基金は2020年度で終了）。

○資料10-3 消費者行政専管担当部署設置率

都道府県名	2022年度	都道府県名	2022年度	都道府県名	2022年度
北海道	16.1%	石川県	14.3%	岡山県	10.7%
青森県	22.0%	福井県	61.1%	広島県	37.5%
岩手県	20.6%	山梨県	25.0%	山口県	40.0%
宮城県	11.1%	長野県	23.1%	徳島県	16.0%
秋田県	34.6%	岐阜県	20.5%	香川県	11.1%
山形県	13.9%	静岡県	25.0%	愛媛県	19.0%
福島県	23.3%	愛知県	14.3%	高知県	13.9%
茨城県	26.7%	三重県	9.7%	福岡県	18.0%
栃木県	15.4%	滋賀県	45.0%	佐賀県	33.3%
群馬県	32.4%	京都府	17.9%	長崎県	31.8%
埼玉県	21.9%	大阪府	36.4%	熊本県	23.9%
千葉県	41.8%	兵庫県	50.0%	大分県	31.6%
東京都	55.6%	奈良県	10.0%	宮崎県	11.1%
神奈川県	41.2%	和歌山県	29.0%	鹿児島県	20.5%
新潟県	22.6%	鳥取県	9.5%	沖縄県	11.9%
富山県	12.5%	島根県	25.0%	合計	24.1%

(備考) 消費者庁「地方消費者行政の現況調査」により作成。

○資料10-4 消費者行政担当事務職員数

年度	専任	兼務	計(人)	専任率
2009年度	1,494	3,696	5,190	28.8%
2010年度	1,570	3,656	5,226	30.0%
2011年度	1,588	3,592	5,180	30.7%
2012年度	1,560	3,622	5,182	30.1%
2013年度	1,528	3,630	5,158	29.6%
2014年度	1,531	3,669	5,200	29.4%
2015年度	1,497	3,686	5,183	28.9%
2016年度	1,489	3,741	5,230	28.5%
2017年度	1,478	3,777	5,255	28.1%
2018年度	1,440	3,769	5,209	27.6%
2019年度	1,413	3,800	5,213	27.1%
2020年度	1,389	3,780	5,169	26.9%
2021年度	1,356	3,808	5,164	26.3%
2022年度	1,342	3,824	5,166	26.0%

(備考) 消費者庁「地方消費者行政の現況調査」により作成。

○資料10-5 「地方消費者行政強化作戦2020」 都道府県別達成状況一覧

	政策目標 1 (人口カ バー率 90%以上)	政策目標 2-1 (人口カ バー率 90%以上)	政策目標 2-2 (75%以上)	政策目標 2-3 (各年度 100%)	政策目標 2-4 (配置)	政策目標 3-4 (配置)	政策目標3-5 (都道府県内の政 令市及び中核市の 対応済みの割合 50%以上)		政策目標 3-6 (75%以上)	政策目標 4-1 (50%以上)	政策目標 4-2 (50%以上)	政策目標 7-2 (80%以上)
都道府県	センター カバー率	相談員 カバー率	相談員 資格保有 率	相談員 研修参加 率	指定消費 生活相談員 配置状況	消費者教育 コーディネ ーター 配置状況 (都道府県)	消費者教育 推進地域協 議会の設置 (政令市、 中核市)	消費者教育 推進計画の 策定(政令 市、中核市)	講習等(出 前講座を含 む)の実施 自治体割合	消費者安全 確保地域協 議会設置人 口カバー率	消費生活協 力員又は消 費生活協力 団体カバー 率	消費者行政 本課及び消 費生活セン ターの全事 務職員の研 修参加率
北海道	92.0%	95.5%	39.4%	78.5%	○	○			21.2%	12.3%	38.8%	20.1%
青森県	100.0%	100.0%	51.9%	100.0%	○	○			12.5%	48.8%	3.6%	24.4%
岩手県	100.0%	100.0%	71.1%	93.3%		○			33.3%	2.2%	2.2%	25.6%
宮城県	78.8%	97.5%	69.1%	89.9%	○	○	○	○	42.9%	52.6%	8.9%	16.5%
秋田県	90.7%	91.9%	66.7%	93.9%					36.0%	3.1%	8.1%	37.3%
山形県	87.7%	90.5%	81.8%	97.0%	○	○			45.7%	22.9%	7.9%	43.5%
福島県	76.5%	86.8%	53.8%	79.5%	○			○	13.6%	20.1%	0.5%	17.2%
茨城県	97.3%	100.0%	86.5%	92.3%	○	○	○	○	68.2%	15.6%	28.6%	29.0%
栃木県	100.0%	100.0%	87.3%	100.0%	○	○			64.0%	1.3%	0.0%	51.4%
群馬県	100.0%	100.0%	75.0%	96.1%		○			38.9%	7.7%	17.1%	24.4%
埼玉県	100.0%	100.0%	95.3%	84.6%		○			47.6%	40.7%	15.1%	23.5%
千葉県	93.7%	97.7%	91.2%	88.2%		○	○	○	55.6%	13.7%	9.6%	22.2%
東京都	99.8%	99.8%	98.3%	93.8%		○	○	○	75.8%	22.8%	7.1%	41.4%
神奈川県	98.8%	100.0%	95.2%	90.2%	○	○	○	○	54.5%	1.9%	0.0%	45.6%
新潟県	82.6%	94.5%	54.5%	90.6%		○	○	○	66.7%	60.6%	4.1%	25.3%
富山県	77.8%	96.3%	75.9%	82.8%		○			73.3%	39.6%	9.3%	36.6%
石川県	92.8%	100.0%	84.6%	96.2%	○	○			75.0%	22.9%	9.5%	48.4%
福井県	87.9%	87.9%	67.7%	100.0%		○			58.8%	30.8%	16.0%	42.1%
山梨県	70.5%	96.2%	83.3%	79.3%	○	○			25.9%	56.5%	59.0%	48.4%
長野県	88.8%	90.4%	71.7%	73.6%		○	○	○	14.3%	20.4%	38.6%	25.0%
岐阜県	91.0%	96.8%	62.1%	82.5%	○	○	○	○	30.2%	38.4%	1.4%	18.5%
静岡県	97.6%	100.0%	85.2%	91.8%		○	○	○	68.6%	7.4%	1.4%	60.9%
愛知県	98.2%	100.0%	92.4%	79.9%	○	○			56.4%	76.5%	6.5%	20.9%
三重県	68.0%	90.4%	84.8%	84.4%		○			33.3%	19.6%	2.3%	25.0%
滋賀県	94.6%	97.0%	88.9%	91.7%		○			57.9%	33.7%	14.9%	40.8%
京都府	96.3%	99.3%	80.0%	88.0%	○	○	○	○	51.9%	1.3%	0.0%	26.2%
大阪府	98.9%	99.9%	98.8%	92.6%	○	○			53.5%	54.5%	5.8%	28.0%
兵庫県	100.0%	100.0%	84.4%	92.4%	○	○	○	○	82.9%	100.0%	99.5%	36.3%
奈良県	73.1%	100.0%	90.0%	91.5%		○			23.1%	6.3%	1.7%	17.9%
和歌山県	47.8%	100.0%	72.2%	44.4%	○	○		○	40.0%	59.0%	4.1%	31.6%
鳥取県	84.2%	99.4%	69.7%	60.6%		○	○	○	55.0%	12.5%	3.1%	24.3%
島根県	90.0%	90.0%	81.0%	90.5%	○	○	○	○	36.8%	85.0%	5.6%	31.4%
岡山県	84.9%	92.8%	72.0%	79.6%		○	○	○	48.1%	43.8%	3.6%	50.0%
広島県	93.0%	99.8%	87.5%	96.1%					65.2%	50.3%	46.8%	29.7%
山口県	99.3%	99.8%	71.4%	85.7%		○			63.2%	87.8%	14.4%	32.4%
徳島県	100.0%	100.0%	71.8%	100.0%	○	○			58.3%	100.0%	65.5%	76.0%
香川県	44.0%	46.4%	100.0%	88.2%					29.4%	54.9%	0.0%	26.8%
愛媛県	76.3%	95.1%	80.6%	77.4%		○			65.0%	83.6%	0.0%	31.3%
高知県	65.0%	81.7%	63.6%	86.4%		○			25.7%	46.5%	0.0%	48.5%
福岡県	92.3%	100.0%	80.4%	81.3%					38.3%	53.3%	3.1%	24.7%
佐賀県	70.0%	100.0%	95.5%	81.8%	○	○			40.0%	12.5%	0.0%	37.5%
長崎県	89.4%	97.8%	56.1%	87.5%	○	○			90.5%	79.9%	9.9%	26.9%
熊本県	87.8%	99.7%	79.7%	66.7%			○	○	44.4%	19.2%	5.4%	38.6%
大分県	95.1%	99.8%	83.8%	72.2%					66.7%	5.6%	0.0%	25.5%
宮崎県	93.4%	100.0%	79.4%	100.0%	○	○			30.8%	52.3%	1.6%	33.8%
鹿児島県	90.3%	93.6%	62.7%	98.0%		○			46.5%	48.6%	0.0%	50.5%
沖縄県	50.0%	89.3%	61.4%	38.6%		○			7.3%	0.0%	4.2%	8.1%
目標達成 自治体数	27/47	42/47	28/47	5/47	21/47	40/47	15/47	17/47	4/47	16/47	3/47	0/47

- (備考) 1. 消費者庁「地方消費者行政の現況調査」により作成。
2. 政策目標の達成状況は、2022年4月1日時点。
※政策目標4-1の達成状況は、2022年12月末時点。
3. 「消費者教育コーディネーターの配置の推進」の政令市の達成状況は、京都市、堺市、北九州市が未達成。
4. 網掛けは目標達成している項目を示す。
5. 政策目標7-1「地方版消費者基本計画の策定」に関して、都道府県別の策定状況は2021年度から非公表としている。(35/47都道府県が策定済み)

資料11 事故内容別分類の説明（資料2-1、2-2、3-1）

事故内容別分類	主な事例
火災	・ガス機器、石油機器、電気製品、車両、設備等からの出火 （消防によって判断されるもの。「火災報告取扱要領」（消防庁長官通知）に定められているもの。）
発煙・発火・過熱	・ガスふろがま点火時のケーシングの変形 ・充電中の携帯電話用電池パックからの発煙 ・ガスこんろ使用時の製品の一部焼損 ・電気製品からの発煙、部品の焼損・溶融 （上記の火災の判断には至らないものの、製品等からの発煙、発火等が認められるもの。）
点火・燃焼・消火不良	・ガスこんろ、ガスふろがま、ガス湯沸器の点火不良、異常着火、異常燃焼による焼損
破裂	・エアゾール式簡易消火具の破裂
ガス爆発	・ガスこんろ点火動作時に漏えいしたガスに引火し爆発 ・ガスふろがまの種火点火時に滞留したガスに引火し爆発
ガス漏れ	・LPガスボンベや高圧ホースの接続部等からの漏えい ・ガス栓、配管等の経年劣化や腐食等による漏えい
燃料・液漏れ等	・消火設備の配管からの消火剤の流出 ・発電機、車両からの燃料漏れ
化学物質による危険	・検疫時に、食品から農薬等が確認され、成分規格不適、規格基準不適等となったもの ・製品に使用された防腐剤、接着剤、塗料等による被害
漏電・電波等の障害	・家電製品の部品の装着や取り外しの際の感電 ・基準を超えるレーザー光が出る製品による被害
製品破損	・遊具の取付け部が外れたもの ・医療機器が破損する不具合が確認されたもの ・自転車で走行中、部品が破損
部品脱落	・製品、遊具等の使用中に部品が脱落
機能故障	・石油ストーブや調理機器等の機能故障、動作の異常 ・医療機器の動作不良が確認されたもの
転落・転倒・不安定	・乗合バス等の発車、停車時に、乗客がバランスを崩して転倒
操作・使用性の欠落	・折りたたみ椅子やベビーカーを開閉する際に指を挟んだもの ・家電製品、家具の角部分に接触
交通事故	・バス、タクシー、運転代行、介護タクシー等で乗客を乗せ運行中に交通事故に至ったもの
誤飲	・食料品以外の物を誤って食べたり飲んだりしたもの
中毒	・飲食店や施設等において提供、調整された食事、弁当等による食中毒 ・ガス機器、発電機等を使用した際の不完全燃焼、換気不良による一酸化炭素中毒
異物の混入・侵入	・車両の燃料等への異物（水分）混入等 ・異物混入等の食品衛生法違反（おそれを含む。）のもの
腐敗・変質	・カビ発生（おそれを含む。）のため自主回収（食品衛生法違反）となったもの
その他	・医療サービス（手術等）におけるガーゼ等の遺残等 ・アレルギー表示の欠落等の食品表示法違反のもの ・四つの指定成分等を含有する健康食品による被害情報に関するもの ・整体やエステといった医業類似行為等で骨折や火傷を負ったもの

資料12 商品別分類の大分類と中分類（資料2-3、2-4、3-2）

大分類	中分類		
食料品 （飲食に供される商品）	生鮮食品	嗜好・調理食品	飲料・酒類
	健康食品	他の食料品	
家電製品 （電気機械器具の中で主に家庭用として使用されるもの）	生活家電	パソコン・パソコン関連機器	電話機・電話機用品
	音響・映像機器	他の家電製品	
住居品 （家事への使用や住宅内に置いて使用し、生活必需品の要素が強い商品）	家事用品	住生活用品	他の住居品
文具・娯楽用品 （教養、事務又は娯楽・趣味の目的で使用される商品）	文具・事務用品	書籍・印刷物	スポーツ用品
	健康器具	玩具・遊具	他の文具・娯楽用品
光熱水品 （電気、ガス等のエネルギーを含む光熱品及び水。親メーターまでの設備等）	電気	ガス	石油
	水道	他の光熱水品	
被服品 （衣類、付属品等、身に着けて使用するもの及びそれらを作るための服飾材料）	和服	洋服	身の回り品
	生地・糸類	他の被服品	
保健衛生品 （身体を清潔、美化し又は健康を保ち疾病治療するため使用される商品）	医薬品	医療機器	化粧品類
	理美容器具・用品	他の保健衛生品	
車両・乗り物 （人又は物を運搬するために屋外で使用するもの。自転車、ベビーカー等のように人力で移動させるものを含む。）	自動車	自動二輪車	自動車用品
	自転車・自転車用品	移動・運搬用品	他の乗り物
建物・設備 （土地、建物、住宅材料及び建築時の設置が一般的で大掛かりな設備）	建物	住宅構成材	住宅設備
	他の建物・設備		
保健・福祉サービス （保健・衛生を保つため、身体美化のためのサービス、福祉サービス）	医療	理美容	福祉
	他の保健・福祉		
他の商品・サービス （上記以外）	クリーニング	外食	商品・サービスその他

資料13 商品別分類（大分類）の内容の説明（資料 3-5、4-1、4-6、4-7）

商品等別分類	主な事例
商品一般	商品関連であることが明確であるが、以下の食料品から他の商品までのいずれの商品であるかを特定できない、又は特定する必要のないもの。
食料品	飲食に供される商品。
住居品	主として家事に使用するものと住宅内に置いて使用するもので、趣味、教養、娯楽等の目的より、生活必需品としての要素が強い商品。例えば、食器、冷暖房機器、家具等。
光熱水品	電気、ガス等のエネルギーを含む光熱品、及び水道水等の水。供給元から各戸の親メーターまでの設備・器具を含む。
被服品	衣類とその付属品等、身に着けて使用するもの、及びそれらを作るための生地、糸等の服飾材料。
保健衛生品	人の身体を清潔にし、美化し、又は健康を保ち、疾病を治療するために使用される商品。
教養娯楽品	主として教養、事務又は娯楽・趣味の目的で使用される商品。例えば、パソコン、電話機、音響・映像製品、スポーツ用品等。
車両・乗り物	人又は物を運搬するために屋外で使用するもの。原動機を搭載しているものだけでなく、自転車、ベビーカー等のように人力で移動させるものを含む。
土地・建物・設備	宅地等の土地、住宅等の建物、住宅材料及び建築時に設置するのが一般的である相当大掛かりな住宅設備。
他の商品	商品のうち、上記の食料品から土地・建物・設備の各項目に該当しないもの。
クリーニング	クリーニング事業者に被服品、じゅうたん、カーテン等のクリーニングを依頼する場合。
レンタル・リース・貸借	商品を賃貸借する場合（不動産の場合は使用貸借も含む。）。
工事・建築・加工	不動産の請負工事、動産の加工請負。例えば、新築工事、増改築工事、リフォームサービス、仕立てサービス等。
修理・補修	品物を修理・補修してもらう場合（自分で行った修理等は含まない。）。
管理・保管	品物の管理、保管をしてもらう場合。
役務一般	役務関連であることが明確であるが、以下の金融・保険サービスから他の行政サービスまでのいずれの役務であるかを特定できない、又は特定する必要のないもの。
金融・保険サービス	生命保険・損害保険等の保険、貯蓄・証券・債券、金融派生商品及び融資・振込・送金等の金融サービス。
運輸・通信サービス	旅客・貨物運送サービス及び電話、放送、インターネット等の通信サービス。
教育サービス	学校教育、補習教育、及びそれらの関連活動。
教養・娯楽サービス	教養、趣味、娯楽の目的で受ける役務。例えば、コンテンツ配信サービス、旅行、宿泊サービス等。
保健・福祉サービス	保健・衛生を保つために受ける役務、身体を美化するために受ける役務、及び福祉サービス。
他の役務	サービス業のうち、上記の金融・保険サービスから保健・福祉サービスの各項目に該当しないもの。例えば、外食、冠婚葬祭等。
内職・副業・ねずみ講	営利を目的とする販売・契約行為のうち、上記の商品一般から他の役務のいずれにも該当せず、かつ消費者問題の範ちゅうにあると考えられるもの。
他の行政サービス	消費者問題に直接関係のない事案で、相手方が行政機関である場合。
他の相談	“売り手対買い手”という図式を持たないもの。例えば、家庭管理、相隣関係、慣習・しきたり、相続等。

消費者問題年表

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1946年 (昭和21年)	3月 「物価統制令」公布 8月 物価庁発足 8月 経済安定本部（1955年から経済企画庁）設置 11月 「日本国憲法」公布	5月 食糧メーデー（米よこせ大会） 8月 経済団体連合会発足
1947年 (昭和22年)	4月 「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（独占禁止法）」公布 4月 「地方自治法」公布 12月 「食品衛生法」公布	
1948年 (昭和23年)	4月 「証券取引法」公布（現金融商品取引法） 7月 「農業取締法」公布 7月 「消防法」公布 8月 「薬事法」公布	9月 不良マッチ追放主婦大会開催 9月 「暮らしの手帖」創刊 10月 主婦連合会（主婦連）結成
1949年 (昭和24年)	6月 「工業標準化法（JIS法）」公布（現産業標準化法）	
1950年 (昭和25年)	5月 「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（JAS法）」公布（現日本農林規格等に関する法律（JAS法）） 5月 「放送法」公布 5月 「建築基準法」公布 8月 「商品取引所法」公布（現商品先物取引法）	
1951年 (昭和26年)	6月 「道路運送車両法」公布	3月 日本生活協同組合連合会結成
1952年 (昭和27年)	6月 「宅地建物取引業法」公布 7月 「旅行あつ旋業法」公布（現旅行業法） 7月 「栄養改善法」公布	7月 全国地域婦人団体連絡協議会（地婦連）結成
1953年 (昭和28年)	6月 厚生省オーラミン使用禁止 7月 「有線電気通信法」公布 9月 「独占禁止法」改正（再販制度を容認）	2月 テレビ放送開始 8月 民間テレビ放送開始（CM始まる） 12月 水俣病発生（熊本県水俣）
1954年 (昭和29年)	3月 「ガス事業法」公布 5月 「利息制限法」公布 6月 「出資法」公布	
1955年 (昭和30年)	7月 経済企画庁発足 8月 「繊維製品品質表示法」公布（1962年家庭用品品質表示法に吸収）	・この頃、三種の神器（洗濯機・冷蔵庫・テレビ）ブーム 3月 日本生産性本部発足 8月 森永ヒ素ミルク中毒事件 ・この頃、整腸剤キノホルムによるスモン被害発生
1956年 (昭和31年)	6月 「倉庫業法」公布	7月 「もはや戦後ではない」（経済白書） 12月 全国消費者団体連絡会（全国消団連）結成
1957年 (昭和32年)		2月 第1回全国消費者大会開催「消費者宣言」採択
1960年 (昭和35年)	8月 「薬事法」公布（現医薬品医療機器等法）	8月 国際消費者機構（IOCU）結成（1995年から国際消費者機構（CI）） 9月 クレジットカード登場 9月 ニセ牛缶事件
1961年 (昭和36年)	4月 東京都に消費経済課設置（都道府県初） 6月 経企庁に国民生活向上対策審議会発足 7月 「割賦販売法」公布 11月 「電気用品取締法」公布（現電気用品安全法）	

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1962年 (昭和37年)	5月 「家庭用品品質表示法」公布 5月 「景品表示法」公布 9月 厚生省 サリドマイド販売禁止	3月 ケネディ米大統領「消費者の4つの権利」宣言（アメリカ合衆国） 5月 サリドマイド事件 9月 消費生活コンサルタント養成講座開設
1963年 (昭和38年)	1月 農林省に消費経済課設置（中央官庁初） 7月 「老人福祉法」公布	
1964年 (昭和39年)	4月 通産省に消費経済課設置	4月 主婦連、粉末ジュースのうそつき表示を発表
1965年 (昭和40年)	4月 厚生省、食品の赤色1号、赤色101号を使用禁止 5月 厚生省、アンプル入り風邪薬の製造禁止を通達 6月 経企庁に「国民生活局」設置（国民生活課、消費者行政課、物価政策課の3課） 6月 経企庁に国民生活審議会発足 11月 兵庫県、「神戸生活科学センター」・「姫路生活科学センター」開設	2月 アンプル入り風邪薬を飲んだ者のショック死事件が続発 4月 第2回全国消費者大会開催 11月 第3回全国消費者大会開催
1966年 (昭和41年)	7月 厚生省、不適へアスプレー6社に製造停止処分 8月 通産省、ユリア樹脂製食器でJIS以外は販売禁止を勧告 8月 経企庁、自治省「地方公共団体における消費者行政の推進について」を通達（消費者教育を消費者行政担当組織の事務の一つとして明示） 10月 厚生省、プラスチック製食器の新しい衛生基準を告示 11月 国生審、「消費者保護組織及び消費者教育に関する答申」	2月 第1回物価メーデー各地で開かれる 8月 主婦連、ユリア樹脂製食器からホルマリン検出 9月 ビールビンの破裂事故各地で起こる 11月 第4回全国消費者大会開催
1967年 (昭和42年)	1月 厚生省、緑色1号を使用禁止 6月 公取委、レモン飲料7社に排除命令 6月 経企庁、消費生活モニター発足 7月 「商品取引所法」改正 8月 「公害対策基本法」公布 12月 「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」公布	3月 第5回全国消費者大会開催 5月 ポッカレモン事件、不当表示への批判高まる 11月 第6回全国消費者大会開催
1968年 (昭和43年)	5月 「消費者保護基本法」公布（現消費者基本法） 5月 「割賦販売法」改正（前払式割賦の規制等） 7月 厚生省、ズルチンの使用全面禁止 8月 第1回消費者保護会議開催	9月 地婦連、100円化粧品「ちふれ」発売 11月 九大調査団、カネミライスオイルの毒物混入経路発表（PCB問題） 11月 第7回全国消費者大会開催
1969年 (昭和44年)	3月 「地方自治法」改正（地方公共団体の事務として消費者保護を明示） 6月 運輸省、欠陥車の総合対策を公表 10月 厚生省、チクロ使用禁止を決定	6月 欠陥自動車問題発生 7月 地婦連、日用品の過大包装調査結果を発表 10月 アメリカ、人工甘味料チクロの使用を禁止 11月 森永ミルク中毒のこどもを守る会、全国総会開催 11月 経済協力開発機構（OECD）に消費者政策委員会（CCP）設置 11月 第8回全国消費者大会開催
1970年 (昭和45年)	1月 農林省、飼料作物へのBHCとDDTの使用を禁止 2月 通産省、電子レンジの極超短波漏えい調査結果を公表 3月 厚生省、スモン病で初の全国実態調査結果を公表 4月 厚生省、牛乳中のBHC残留量を公表	1月 消費者5団体、「チクロ追放消費者大会」でチクロ入り食品不買を決定 8月 地婦連、カラーテレビの二重価格調査公表 9月 消費者5団体、カラーテレビ不買運動を決める 11月 日本消費者連盟創立委員会、ブリタニカ商法告発

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1970年 (昭和45年)	5月 「JAS法」改正 9月 厚生省、キノホルムの販売中止措置 10月 国民生活センター設立 11月 国生審、「消費生活に関する情報の提供及び知識の普及に関する答申」 11月 通産省、公取委、カラーテレビの二重価格表示問題について業界に警告	11月 第9回全国消費者大会開催
1971年 (昭和46年)	5月 農林省、DDTは全面禁止、BHCは林業以外使用禁止 5月 「旅行業法」改正 6月 「宅地建物取引業法」改正 6月 「積立式宅地建物販売業法」公布 7月 環境庁発足 8月 産構審、「消費者安全対策小委員会」を設置 12月 農林省、BHCを全面禁止	1月 ラルフ・ネーダー来日 1月 消費者団体で化粧品・洗剤など再販商品のボイコットを申合せ 2月 家電各社、カラーテレビ値下げ 4月 主婦連、「果実飲料等の表示に関する公正競争規約」に不服申立て 8月 栄養改善普及会、ユニットプライス運動進める 8月 「ドルショック」 10月 日本玩具協会、STマークを実施 10月 消火器の訪問販売で問題続出 11月 第10回全国消費者大会開催 12月 過剰包装追放運動広がる ・この頃、ネズミ講「天下一家の会」問題化
1972年 (昭和47年)	2月 通産省、PCBの家電製品への使用禁止を業界へ通達 5月 「景品表示法」改正 6月 「割賦販売法」改正（クーリング・オフ4日間創設） 6月 「食品衛生法」改正	1月 灘神戸生協、ユニットプライスを実施 4月 全国消団連、「PCB追放大会」開催 7月 SF商法で苦情続出 8月 主婦連、第7回IOCU世界会議で再販廃止決議を提案、採決 10月 台風20号でプレハブ住宅の被害続出 11月 第11回全国消費者大会開催
1973年 (昭和48年)	2月 国生審、「サービスに関する消費者保護について」答申 3月 公取委、「無果汁の清涼飲料水等についての表示」を指定（告示） 5月 「計量法」改正（家庭用計量器に合格マーク） 5月 国生審、消費者被害救済の諸制度の検討開始 6月 「消費生活用製品安全法」公布 7月 経企庁に物価局発足 7月 「生活関連物資等の買占め及び売惜しみに対する緊急措置に関する法律（買占め防止法）」公布 10月 「家庭用品規制法」公布 10月 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」公布 10月 公取委、再販許容品目大幅縮小 10月 公取委、「商品の原産国に関する不当な表示」を指定（告示） 11月 厚生省、サッカリン使用基準の改正を告示 12月 「買占め防止法」改正、「国民生活安定緊急措置法」公布	1月 消費者団体と消費者連盟、「石油タンパク検討会」で飼料化反対を申合せ 3月 大手商社の買占めに批判高まる 4月 千葉ニッコロビフェニル混入事件 6月 全国消団連、PCB汚染魚の追放を水産庁に申入れ 9月 国立遺伝学研究所の遺伝研究グループ、AF2防腐剤に関する研究結果発表 9月 主婦連、欠陥プレハブ住宅被害者集会開催 10月 第1次オイルショック（物不足、「狂乱物価」） 11月 各地でトイレットペーパー、洗剤など物不足騒ぎ起こる 11月 第12回全国消費者大会開催
1974年 (昭和49年)	2月 経企、厚生、農林、通産4省庁で物価対策本部発足 5月 「神戸市民のくらしをまもる条例」公布（全国初）	7月 消費者34団体、AF2を追放する総決起大会開催 9月 奪われたものを取りかえす消費者の会、灯油訴訟提起（11月主婦連、鶴岡生協も続く）

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1974年 (昭和49年)	6月 厚生省、塩ビモノマー使用のスプレー式殺虫剤の製造販売中止、回収措置 7月 建設省、BL(ベターリビング)マーク制度を告示 8月 厚生省、AF2を使用禁止 12月 産構審、マルチ商法、訪問販売など「特殊販売の適正化について」答申	11月 第13回全国消費者大会開催 ・この頃、ヤミカルテル問題化
1975年 (昭和50年)	2月 公取委、マルチ商法のホリディマジック社を立入検査 3月 厚生省、歯科医療に関する苦情相談について都道府県へ通知 5月 食品衛生調査会、サッカリンの暫定使用基準を緩和 6月 文部省、学校給食パンに添加のリジンは安全と都道府県に通達 7月 「商品取引所法」改正 10月 東京都衛研、市販容器から危険濃度をこえる塩ビモノマー検出 12月 科技厅、「塩化ビニールに関する特別研究」結果公表	2月 大阪消費者友の会、神戸市消費者協会、「歯の苦情110番」を設置 2月 「マルチ商法被害者対策委員会」を結成 3月 消費者24団体、「公共料金、消費者物価値上げ反対国民中央集会」開催 3月 銀行を告発する会、「銀行被害110番」を開設 6月 消費者21団体、「サッカリン追放連絡会」結成集会開催 7月 消費者団体、「リジン添加阻止全国集会」を開催、文部省に要望書提出 8月 大阪府地域消費者団体連絡会「化粧品 110番」を設置 ・この頃、合成洗剤追放運動強まる 11月 第14回全国消費者大会開催
1976年 (昭和51年)	3月 厚生省合同研究班、合成洗剤に「催奇形性なし」と結論 6月 厚生省、「母乳汚染状況調査結果」公表 6月 「訪問販売等に関する法律(訪問販売法)」公布(現特定商取引法) 6月 7省庁、ネズミ講対策各省連絡会発足 7月 東京都衛研、ポリプロピレン製食器からBHT(酸化防止剤)を検出 10月 国生審消費者保護部会、「消費者被害の救済について(中間報告)」公表	1月 消費者団体、塩ビ食品容器の不買運動を開始 1月 アメリカFDA赤色2号の使用中止 10月 欠陥住宅問題化 11月 第15回全国消費者大会開催 12月 ・この頃からサラ金被害が社会問題化
1977年 (昭和52年)	5月 厚生省、カビ防止剤OPP使用許可 6月 「独占禁止法」改正(課徴金制度導入) 6月 国生審消費者保護部会、「昭和50年代の消費者保護のあり方について(中間とりまとめ)」公表	5月 消費者団体、第1回OPPボイコット集会開催 7月 化粧品公害被害者の会、損害賠償訴訟を提訴 9月 東京高裁、松下電器ヤミ再販損害賠償請求事件で損害額を認定できる証拠なしとして棄却 11月 消費者団体、円高差益還元を要求 11月 第16回全国消費者大会開催
1978年 (昭和53年)	1月 経企庁、「欧米の消費者被害救済制度」調査報告書公表 2月 経企庁、消費者被害調査結果公表 5月 第1回「消費者の日」 8月 厚生省、食品添加物にTBZを許可 9月 産構審、「耐久消費財の品質保証のあり方について」答申 11月 「無限連鎖講の防止に関する法律(ネズミ講防止法)」公布 11月 通産省、自販機を割賦販売法の指定商品とする	3月 最高裁、ジュース裁判で一般消費者に景表法に基づく不服申立資格なしとして主婦連の上告棄却 9月 放射線を照射した粉末野菜を使用したベビーフード市場に出回る 9月 一般消費税に反対運動強まる 11月 第17回全国消費者大会開催
1979年 (昭和54年)	6月 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」公布	・この頃、第2次オイルショック 3月 アメリカ、スリーマイル島原発事故による原子力発電の安全性に不安高まる

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1979年 (昭和54年)	9月 国生審消費者政策部会、「危害情報の収集・提供システムのあり方」等5件の報告を内容とする意見を公表 10月 「薬事法」改正、「医薬品副作用被害救済基金法」公布 10月 滋賀県、「琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」公布	6月 灯油価格の上昇始まる 10月 金の先物取引で被害続出 11月 第18回全国消費者大会開催
1980年 (昭和55年)	2月 厚生省、過酸化水素使用基準の改正を告示 3月 国民生活センター、商品テスト・研修施設開所 4月 住宅性能保証制度発足 4月 公取委、「消費者信用の融資費用に関する不当な表示」を指定（告示） 5月 「宅地建物取引業法」及び「積立式宅地建物販売業法」改正 5月 情報提供に関する改善措置等について閣議了解 5月 公取委、「不動産のおとり広告に関する表示」を指定（告示） 6月 国生審消費者政策部会、「短期海外研修ツアーの適正化について」報告	2月 子供のためのテレビコマーシャル規制要求高まる 9月 石油ヤミカルテル刑事事件判決（高裁判決） ・この頃、水道水トリハロメタン汚染問題 11月 第19回全国消費者大会開催
1981年 (昭和56年)	2月 国民生活センター、商品テスト誌「たしかな目」発刊 4月 第1期消費生活アドバイザー認定・登録 4月 厚生省、プロピレングリコールの使用基準を設定 11月 国生審消費者政策部会、「消費者取引に用いられる約款の適正化について」報告 12月 同部会、「製品関連事故による消費者被害の救済について」及び「消費者信用情報機関の適正な運営について」報告	3月 石油ヤミカルテル民事事件判決（鶴岡） 6月 IOCU、第10回世界大会をハーグで開催。消費者被害を防ぐ国際監視体制を提言 10月 東京弁護士会、食品安全基本法を提案 11月 「日本消費者教育学会」設立 11月 第20回全国消費者大会開催
1982年 (昭和57年)	2月 厚生省、ナイロン製の器具・容器包装等4規格を設定（告示） 4月 「旅行業法」改正 5月 建設省、宅地建物取引の標準媒介契約約款を制定（告示） 6月 公取委、「おとり広告に関する表示」を指定（告示） 7月 「海外商品市場における先物取引の受託等に関する法律（海先法）」公布（2011年商品先物取引法に吸収） 8月 厚生省、臭素酸カリウムの使用基準等を改正（告示）	2月 日弁連、「食品衛生法の改正を求める意見書」を厚生省に提出 9月 高松高裁立替金請求控訴事件判決 11月 第21回全国消費者大会開催
1983年 (昭和58年)	2月 運輸省、「標準旅行業約款」の制定（告示） 3月 厚生省、「クリーニング業に関する標準営業約款」の認可 5月 「貸金業の規制等に関する法律（貸金業規制法）」公布（現貸金業法） 8月 食品に含まれる添加物78品目の物質名表示の義務付け 12月 国生審消費者政策部会、「店舗外における消費者取引の適正化について」報告 12月 「商品取引所法」改正	・この頃、食品添加物問題 4月 IOCU日本国際セミナー開催 5月 東北地方を中心に新型ネズミ講発生 9月 水銀乾電池回収問題発生 11月 第22回全国消費者大会開催
1984年 (昭和59年)	3月 国生審消費者政策部会、「消費者取引に用いられる約款の適正化について」報告	2月 「消費者行政サミット」（9 大府県主催）開催

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1984年 (昭和59年)	4月 経企庁、「健康食品」の販売等に関する総合実態調査公表 4月 国民生活センター、全国消費生活情報ネットワークシステム「PIO-NET」運用開始 5月 「割賦販売法」改正（抗弁の接続、個品割賦を対象にする内容） 7月 福岡県春日市、「個人情報保護条例」可決 10月 厚生省、「健康食品対策室」発足 10月 厚生省、「理容業に関する標準営業約款」及び「美容業に関する標準営業約款」の認可 11月 農水省、「消費者の部屋」開設 12月 経企庁、「消費者信用適正化研究会」（中間報告）公表	2月 石油ヤミカルテル刑事事件判決（最高裁） 5月 キャブテンシステム認可（11月実施） 11月 第23回全国消費者大会開催 11月 OECD「消費者利益と国際貿易に関するシンポジウム」開催 12月 第11回IOCU世界大会で国連消費者保護ガイドラインの採択を要請する決議を採択
1985年 (昭和60年)	4月 国生審消費者政策部会、「情報化時代の消費者政策について」報告 5月 通産省、「訪問販売トラブル情報提供制度」発足 7月 「市場アクセス改善のためのアクションプログラム」の骨格」決定 8月 建設省、「中高層分譲共同住宅管理業者登録規程」を制定（告示） 9月 運輸省、「標準宅配便約款」を制定（告示） 11月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催（名古屋、福岡、仙台、東京（12月）） 12月 運輸省、「モデル宿泊約款」の制定	3月 石油ヤミカルテル民事事件判決（仙台高裁） 6月 豊田商事（金の現物まがい取引等）国会で問題化 7月 オーストリア産等のワインからジエチレングリコール検出、厚生省販売自粛を要請 7月 EC閣僚理事会製造物責任に関する指令を採択 11月 第24回全国消費者大会開催
1986年 (昭和61年)	5月 「預託法」公布 5月 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」公布 5月 運輸省、「標準トランクルームサービス約款」の制定（告示） 5月 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」改正 9月 国生審、「学校における消費者教育について」教育課程審議会に要望 10月 運輸省、「標準引越運送・取扱約款」の制定（告示） 11月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催（札幌、広島、金沢、東京（12月）） 12月 国生審消費者政策部会、「消費者信用における金利等の弾力化等について」意見公表 12月 国生審サービス化委員会、「新しいサービス取引における消費者保護について」報告	3月 海外（金融）先物取引会社の破産、事務所閉鎖相次いで発生 5月 カネミ第2陣控訴審判決（福岡高裁） 6月 生鮮野菜から、食品添加物が検出されたことについて厚生省が添加物の適正使用について指導 10月 一部悪質抵当証券会社の詐欺的商法により被害を受ける購入者が多数発生 11月 第25回全国消費者大会開催
1987年 (昭和62年)	7月 金融制度調査会消費者信用委員会、「消費者信用のあり方について」中間報告 8月 「預託法」の適用を受ける施設利用権として、「語学を習得させるための施設を利用する権利」を追加指定 9月 「流通食品への毒物の混入等の防止に関する特別措置法」公布 11月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催（山形、大阪、香川、東京） 12月 「抵当証券業の規制等に関する法律」公布（のちに金融商品取引法に統合）	2月 売上税法案閣議決定 2月 売上税反対集会各地で開催 3月 靈感商法横行 3月 カネミ油症事件原告とPCB製造元の鐘淵化学工業が和解 4月 カネミ油症事件被告の国が原告団の訴訟取下げに同意手続 5月 売上税廃案 6月 地婦連、コメ輸入自由化についてのアンケート結果発表 9月 第12回IOCU世界大会開催 11月 第26回全国消費者大会開催 12月 家庭用洗浄剤混用による死亡事故発生

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1987年 (昭和62年)		12月 AT車発進事故多発 12月 アスベスト汚染問題化
1988年 (昭和63年)	1月 厚生省、「健康づくりのための運動指導者の知識及び技能の審査証明事業の認定に関する規程」(告示)の制定 4月 文部省、学習指導要領改訂(消費者教育の本格導入)(小学校92年度、中学校93年度、高等学校94年度から) 5月 第1回「消費者月間」 5月 「ネズミ講防止法」改正 5月 「宅地建物取引業法」改正 5月 「訪問販売法」改正 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(岐阜、福島、熊本、東京) 7月 厚生省、「化学的合成品たる食品添加物の食品への食品添加物表示基準」の改正 9月 国生審消費者政策部会、「サービス取引における約款の適正化について」及び「消費者取引における個人情報保護の在り方について」を報告 11月 厚生省、「健康増進施設認定規程」(告示)の制定	2月 国債ネズミ講、国会で問題化 3月 水俣病刑事裁判、最高裁で刑事責任確定 6月 牛肉・オレンジ輸入自由化問題決着 7月 消費税反対7.12中央大会 8月 消費者7団体、「消費税反対消費者団体懇談会」を結成、消費税反対の共同声明を出す 11月 第27回全国消費者大会開催 ・この頃、大都市圏の地価高騰問題化
1989年 (平成元年)	2月 通産省、「家庭用洗剤及び漂白剤等による今後の事故発生防止対策について」を業界に通達 3月 文部省、小学校、中学校、高等学校の学習指導要領改訂(消費者教育の充実) 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」(千葉、富山、岡山、東京) 8月 通産省、「高圧ガス取締法に基づくエアゾール製品の基準」改正 10月 通産省、「家庭用品品質表示法電気機械器具品質表示規程」改正 11月 厚生省、「化学的合成品以外の食品添加物表示基準」制定 12月 地方消費者行政推進委員会、「地方消費者行政の新たな展開」報告 12月 通産省、「家庭用品品質表示法雑貨工業品品質表示規程」改正 12月 「前払い式証票の規制等に関する法律(プリペイドカード法)」公布	4月 消費税導入(3%) 5月 原野商法相次いで摘発される 5月 フロン全廃宣言を採択(ヘルシンキ会議) 7月 NTTダイヤルQ2サービス開始 8月 アジア太平洋消費者会議 11月 第28回全国消費者大会開催
1990年 (平成2年)	1月 通産省、「消費者志向優良企業表彰制度」創設 2月 電気用品安全検討会、「電気用品安全確保を図るため早急に取り組むべき安全対策について(中間報告)」公表 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」(青森、滋賀、高知、東京) 6月 割販審前払式取引部会、「クレジット産業の今後の在り方について(中間報告)」公表 6月 割販審前払式取引部会、「前払式取引業の今後の在り方について(中間報告)」公表 6月 「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」公布 6月 「商品取引所法」改正	1月 カラーテレビの発煙・発火事故相次ぐ 2月 消費者教育支援センター設立 3月 日弁連等、「欠陥商品110番」実施 5月 日生協、リサイクル・省資源型商品300種の順次発売開始 5月 リゾートクラブ会員権のトラブル増加 7月 第13回I0CU世界大会開催 8月 輸入レモンからポスト・ハーベスト農薬「2,4-D」検出 10月 湾岸情勢の影響で石油製品の値上げ相次ぐ 11月 第29回全国消費者大会開催 ・この頃、マルチ、マルチまがい商法被害増加 ・この頃、悪質電話勧誘に関する苦情増加

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1990年 (平成2年)	11月 通産省、「会員権取引に係る訪問販売の適正化について」通達	
1991年 (平成3年)	4月 「資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）」公布 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催（新潟、大分、山梨、東京） 7月 運輸省、消費者行政課設置 9月 郵政省、「電気通信事業における個人情報保護に関するガイドライン」公表 10月 国生審消費者政策部会、「総合的な消費者被害防止・救済の在り方について」（中間報告）公表 10月 消費生活専門相談員資格認定試験実施 10月 「借地借家法」公布（定期借家制度新設）	4月 牛肉・オレンジ自由化スタート 4月 日弁連と七つの消費者団体「欠陥商品110番」実施 5月 「消費者のための製造物責任法の制定を求める連絡会」結成集会 5月 消費者団体・製造物責任法制定決起集会 11月 第30回全国消費者大会開催 ・この頃、ダイヤルQ2に多数の苦情 ・この頃、継続的役務取引のトラブル増加
1992年 (平成4年)	5月 経企庁、「消費者問題国民会議」（神奈川、兵庫、山口、東京） 5月 「ゴルフ場等に係る会員契約の適正化に関する法律」公布 5月 「計量法」全部改正 10月 国生審消費者政策部会、「総合的な消費者被害防止・救済の在り方について」公表 11月 国生審、「ゆとり、安心、多様性のある国民生活を実現するための基本的な方策に関する答申」提出	5月 「全国ダイヤルQ2消費者問題連絡会」結成 6月 地球サミット開催（ブラジル） 10月 カード破産を主とする個人の自己破産急増と最高裁発表 11月 第31回全国消費者大会開催
1993年 (平成5年)	4月 公取委、再販指定商品の縮小 4月 公取委、「おとり広告に関する表示」告示の変更 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」（岩手、静岡、愛媛、東京） 6月 通産省、「継続的役務取引適正化研究会」報告書公表 6月 「JAS法」改正 7月 郵政省、「電気通信利用者相談室」設置 10月 中央薬事審議会製造物責任制度等特別部会報告公表 11月 厚生省、「食品の日付表示に関する検討会」報告公表 11月 農水省、「食品表示問題懇談会」報告公表 11月 食品に係る消費者被害防止・救済対策研究会報告公表 11月 産構審総合製品安全部会、「事故防止及び被害救済のための総合的な製品安全対策の在り方について」答申 11月 「環境基本法」公布 12月 国生審消費者政策部会、「製造物責任制度を中心とした総合的な消費者被害防止・救済の在り方について」公表 12月 国生審、「製造物責任制度を中心とした総合的な消費者被害防止・救済の在り方について（意見）」提出	・この頃、バブル崩壊により変額保険被害問題化 2月 消費者のための製造物責任法の制定を求める連絡会が各地で「欠陥商品110番」を実施 4月 EC閣僚理事会「消費者契約における不公正条項に関する指令」を採択 7月 製造物責任法制定を求める消費者の請願署名全国で245万人を超える 9月 抗ウイルス剤「ソリブジン」抗ガン剤との相互作用による死亡事故続発 11月 記録的な冷夏、コメ不足でコメを緊急輸入 11月 経済改革研究会、中間報告「規制緩和について」提出 11月 第32回全国消費者大会開催 12月 ガットウルグアイラウンドでコメ部分開放の受け入れ決定 ・この頃、マルチ、マルチまがい商法被害増加続く
1994年 (平成6年)	1月 法制審民法部会、審議結果公表 2月 法制審総会で民法部会審議結果を了承 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」（栃木、奈良、宮崎、東京） 6月 「不動産特定共同事業法」公布	2月 国産米品薄で価格が急騰 3月 カラーテレビの発火事故で大阪地裁においてメーカー敗訴 8月 IOCU国際消費者法セミナー開催 9月 第14回IOCU世界大会開催

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1994年 (平成 6 年)	7 月 「PL法」公布 7 月 「道路運送車両法」改正(リコールの法制化) 11月 国生審消費者政策部会消費者行政問題検討委員会、「今後の消費者行政の在り方について」報告 12月 厚生省、「食品衛生法施行規則」等改正 12月 農水省、「JAS法に基づく日本農林規格及び品質表示基準」(告示)改正	11月 第33回全国消費者大会開催 ・この頃、「価格破壊」進む
1995年 (平成 7 年)	2 月 経企庁、「兵庫県南部地震関連生活問題110番」設置 3 月 総理府、「消費者問題に関する世論調査」公表 4 月 食品の日付表示を期限表示に一本化 5 月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(秋田、三重、島根、東京) 5 月 「旅行業法」改正(1996年施行) 5 月 「食品衛生法」及び「栄養改善法」改正 6 月 「保険業法」全部改正 10月 国民生活センター、ホームページ開設 10月 国民生活センター、こんにゃくゼリー窒息事故情報公表 11月 食糧法施行、コメの流通規制の緩和 12月 産構審消費経済部会、「電話勧誘等による販売及び連鎖販売取引の適正化のための方策の在り方について」答申	1 月 国際消費者機構(IOCU)、国際消費者機構(CI)へ名称変更 1 月 阪神・淡路大震災発生 ・この頃住宅関連の消費生活相談急増、また、便乗悪質商法急増 3 月 「規制緩和推進計画」決定 9 月 水俣病被害者組織 5 団体、政府の示した最終解決案を受け入れ 10月 HIV訴訟、和解勧告が出される 11月 第34回全国消費者大会開催 ・この頃、悪質な電話勧誘に関する苦情急増続く ・この頃、悪質な電話勧誘による資格商法に対する取締りを強化
1996年 (平成 8 年)	4 月 公取委、「景品規則に関する告示等」改正 5 月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(埼玉、名古屋、長崎、東京) 5 月 「訪問販売法」改正 5 月 厚生省、「栄養表示基準制度」施行 6 月 「民事訴訟法」全面改正(少額訴訟制度) 7 月 0-157関係閣僚会議設置 9 月 青果物 5 品目に対し原産地表示を義務付け 9 月 郵政省、「放送における視聴者の加入者個人情報保護に関するガイドライン」公表 11月 行革委行政情報公開部会報告 11月 郵政省、「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」公表 12月 国生審消費者政策部会、「消費者取引の適正化に向けて」報告 12月 行革委規制緩和委員会、「創意で造る新たな日本」報告 12月 郵政省、「電気通信における利用環境整備に関する研究会報告書」公表	2 月 欧州で狂牛病発生 7 月 病原性大腸菌0-157による食中毒続出 11月 第35回全国消費者大会開催 ・この頃、利殖に係る預り金を名目とした広域詐欺事件の発覚と検挙
1997年 (平成 9 年)	4 月 公取委、再販指定商品(化粧品、一般用医薬品)の指定取消 4 月 国民生活センター、朝日ソーラーを実名公表 5 月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(徳島、福井、茨城、東京) 6 月 公取委、報告書「有料老人ホームにおける消費者取引の適正化について」を公表 7 月 「預託法」の施行令改正 7 月 郵政省、「電気通信利用環境整備室」設置	1 月 発信電話番号通知サービスの試験サービス開始 1 月 「ココ山岡宝飾店」破産 ・この頃、多重債務者を狙った手形に係る広域詐欺事件の発覚と検挙 4 月 消費税率 3 %から 5 %に引上げ 6 月 アメリカでタバコ訴訟和解成立 11月 第36回全国消費者大会開催 ・この頃、遺伝子組換え食品に対して消費者から表示の要求高まる ・この頃、預託商法の被害急増

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1997年 (平成9年)	9月 法務省、成年後見問題研究会報告公表 11月 第30回消費者保護会議 12月 行政改革会議最終報告公表 12月 「介護保険法」公布	
1998年 (平成10年)	1月 国生審消費者政策部会、中間報告公表 3月 規制緩和推進3か年計画閣議決定 3月 「特定非営利活動促進法（NPO法）」公布 4月 法務省、「成年後見制度の改正に関する要綱試案」公表 4月 「商品取引所法」改正 5月 「HACCP支援法」公布 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」（東京、千葉、和歌山、鳥取） 6月 「金融システム改革のための関係法律の整備等に関する法律（金融システム改革法）」公布（金融ビックバン） 6月 厚生省、「有料老人ホーム等のあり方に関する検討会報告書」公表 6月 高度情報通信社会推進本部電子商取引等検討部会、「電子商取引等の推進に向けた日本の取り組み」公表 6月 「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」公布 10月 農水省、「食品等の表示・規格制度の見直しについて」公表 10月 郵政省、「電気通信サービスにおけるプライバシー保護に関する研究会報告書」公表 11月 農水省、「有機食品の検査・認証制度導入について」公表 12月 国民生活センター、「全国消費者フォーラム」開催 12月 文部省、小学校、中学校の学習指導要領改訂（消費者教育の充実） 12月 郵政省、「電気通信事業における個人情報保護に関するガイドライン」（告示）の改訂	2月 発信者情報通知サービス開始 5月 タバコ訴訟、JTと国に7,000万円損害賠償請求 6月 仏ワールドカップ、入場券不足問題 6月 カップ麺の環境ホルモン溶出論争 8月 医師への損害賠償訴訟提訴、97年596件へ急増（5年前の約6割増） 10月 OECD電子商取引閣僚級会合で「プライバシー保護」等を決定 11月 アメリカ、タバコ訴訟25兆円で和解 11月 第37回全国消費者大会開催
1999年 (平成11年)	1月 国生審消費者政策部会報告公表 2月 産構審消費経済部会提言公表 2月 割販審クレジット産業部会中間報告公表 3月 規制緩和推進3か年計画（改定）閣議決定 3月 消費者政策国際会議 3月 文部省、高等学校の学習指導要領改訂（消費者教育の充実） 4月 「訪問販売法」及び「割賦販売法」改正 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催（東京、京都、佐賀、群馬） 6月 「住宅品確法」公布 6月 国民生活センター、「多重債務者問題に関する調査報告書」公表 7月 「JAS法」改正 7月 「ダイオキシン類対策特別措置法（ダイオキシン対策法）」公布 7月 大蔵省・通産省個人情報情報保護・利用の在り方に関する作業部会、「個人情報情報保護・利用の在り方に関する論点・意見の中間的な整理」公表	1月 日本医師会、カルテ原則公開の指針 5月 遺伝子組換えトウモロコシの花粉が周辺のチョウに被害を及ぼすおそれを指摘した論文が英科学誌「ネイチャー」に掲載 6月 PL訴訟における初めての肯定判決（名古屋地裁） 6月 消費者向け相談窓口を設置することや化学物質の放出に基準を設置すること等を内容とする優良住宅（BL）部品認定制度の改定 9月 クローン牛肉試験販売スタート 9月 病原性大腸菌O-157集団食中毒で堺市への4,500万円賠償で結審（大阪地裁） 10月 高利貸金業の「商工ローン」問題国会で審議 11月 第38回全国消費者大会開催 ・この頃、消費者被害の救済に役立つ消費者契約法の制定を求める特別決議 ・この頃、東海村臨界事故についての特別決議 12月 コンピューター2000年問題への対応

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1999年 (平成11年)	8月 「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」公布 8月 農水省、「食品表示問題懇談会遺伝子組換え食品部会報告書」報告 8月 「消費生活用製品安全法」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」、「電気用品取締法」（「電気用品安全法」に改称、PSCマーク導入）及び「ガス事業法」改正 11月 高度情報通信社会推進本部、「我が国における個人情報保護システムの在り方について（中間報告）」発表 12月 改正民法等4法公布 12月 「貸金業規制法」、「出資法」、「利息制限法」改正 12月 国生審消費者政策部会報告公表 12月 金融審議会第一部会、「中間整理（第二次）」公表 12月 厚生省、「いわゆる栄養補助食品の取扱いに関する検討会」中間報告書公表 12月 「良質な賃貸住宅等の供給の促進に関する特別措置法」公布（改正借地借家法を含む。）	12月 和服モニターの高額商品購入問題多発 12月 社団法人日本玩具協会、塩化ビニール使用を含むおもちゃ素材表示の自主基準作成 12月 OECD消費者政策委員会電子商取引ガイドライン公表 ・この頃、生命保険の転換問題 ・この頃、電気通信業者や地方公共団体等個人情報漏洩事件多発 ・この頃、コンピュータウイルス被害急増：99年に過去最悪の3,645件
2000年 (平成12年)	1月 厚生省食品衛生調査会バイオテクノロジー特別部会、「組換え DNA技術応用食品・食品添加物の安全性審査の法的義務化」公表 1月 東アジア消費者政策シンポジウム 3月 CODEXバイオテクノロジー応用食品特別部会第1回会議 3月 国民生活センター、「金融商品に係る消費者トラブル問題調査報告書」公表 3月 規制緩和推進3か年計画（再改定）閣議決定 3月 文部省・厚生省・農水省、「食生活指針」を策定「食生活指針の推進について」閣議決定 4月 「介護保険法」施行（同法公布は、1997年12月） 5月 「消費者契約法」公布 5月 「金融商品の販売等に関する法律」公布（現金融サービスの提供に関する法律） 5月 遺伝子組換え食品の安全性審査義務化に関する告示公布 6月 公取委、「不当な価格表示についての景品表示法上の考え方」公表 11月 「訪問販売法」改正（「特定商取引に関する法律」と改称）及び「割賦販売法」改正 12月 「マンションの管理の適正化の推進に関する法律」公布	3月 CODEX食品規格委員会バイオテクノロジー応用食品特別部会、遺伝子組換え食品等の安全性評価についての指針等を検討 3月 「ココ山岡宝飾店」のダイヤモンド買戻し商法に伴う訴訟で原告・被告双方が未払代金を免除する和解案により合意 3月 弁護士広告原則解禁決定（10月から実施） 4月 成年後見制度開始 6月 雪印乳業食中毒事故発生：有症者数 14,849名（9月8日現在） 7月 三菱自動車リコール隠し発覚 10月 新築住宅の住宅性能表示制度開始 10月 エステティックサロン「エステdeミロード」の運営会社破産 11月 第39回全国消費者大会開催 11月 ジェット噴流バスで死亡事故判明
2001年 (平成13年)	1月 中央省庁再編・内閣府設置 国民生活センターの監督官庁が経企庁から内閣府に移行、国民生活局も経企庁から内閣府へ移管 3月 規制改革推進3か年計画閣議決定 4月 「高齢者の居住の安定確保に関する法律」公布	9月 国内で初めて牛海綿状脳症に罹患した牛を確認 11月 第40回全国消費者大会開催 ・この頃、いわゆる「ワン切り」問題多発

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2001年 (平成13年)	6月 「電子消費者契約及び電子承諾通知に関する民法の特例に関する法律（電子消費者契約法）」公布 6月 「倉庫業法」改正 10月 全ての食用牛を対象とした異常プリオン（牛海綿状脳症）検査の開始 10月 牛の特定危険部位（脳、目、せき髄、回腸遠位部）の除去焼却義務化 11月 「プロバイダー責任制限法」公布	
2002年 (平成14年)	3月 電子商取引等に関する準則を策定 3月 規制改革推進3か年計画（改定）閣議決定 4月 「特定電子メール法」公布 4月 「特定商取引法」改正 6月 「JAS法」改正（罰金額引き上げ） 6月 「BSE対策特別措置法」公布 7月 「建築基準法等の一部を改正する法律」公布（シックハウス症候群対策） 8月 「健康増進法」公布 12月 「有線電気通信法」改正（ワン切り規制） 12月 食品の表示に関する共同会議開催 12月 国生審消費者政策部会自主行動基準検討委員会報告公表 12月 「国民生活センター法」公布 12月 「農業取締法」改正	11月 第41回全国消費者大会開催 ・この頃、食品偽装表示事件等の多発
2003年 (平成15年)	3月 規制改革推進3か年計画（再改定）閣議決定 4月 公正取引委員会、総務省から内閣府へ移管 4月 死亡牛全頭のBSE検査を開始 5月 国生審消費者政策部会報告公表 5月 国生審消費者政策部会公益通報者保護制度検討委員会報告公表 5月 「個人情報保護法」公布 5月 「食品安全基本法」公布（食品安全委員会設置等） 5月 「景品表示法」改正（不実証広告規制の導入等） 6月 食品安全関連5法公布（「HACCP支援法」の改正等） 6月 食の安全・安心のための政策大綱を公表 6月 総務省に消費者行政課設置 7月 農水省に消費・安全局設置 7月 加工食品に係る期限表示用語の統一 8月 「貸金業規制法及び出資法の一部改正法（ヤミ金融対策法）」公布 10月 生産情報公表JAS規格（牛肉）制定	11月 第42回全国消費者大会開催 12月 アメリカでBSE感染牛を確認。これに伴い、同国からの牛肉等の輸入を停止 ・この頃、架空不当請求被害増大
2004年 (平成16年)	1月 「食品安全基本法第21条第1項に規定する基本的事項」閣議決定 3月 規制改革・民間開放推進3か年計画閣議決定 4月 「個人情報の保護に関する基本方針」閣議決定 4月 公取委、「有料老人ホーム等に関する不当な表示」を指定（告示） 4月 消費税総額表示制度開始 5月 「特定商取引法」改正	1月 国内において高病原性鳥インフルエンザが発生 ・この頃、組織的なヤミ金融事犯に係る犯罪被害財産の発覚 11月 第43回全国消費者大会開催 ・この頃、振り込め詐欺被害の多発 ・この頃、偽造・盗難キャッシュカードによる被害の急増

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2004年 (平成16年)	6月 「消費者保護基本法」改正（消費者基本法に改称） 6月 「公益通報者保護法」公布 9月 第1回消費者政策会議 11月 厚労省、「めん類飲食店営業に関する標準営業約款」及び「一般飲食店営業に関する標準営業約款」認可 12月 「裁判外紛争解決手続の利用の促進に関する法律（ADR法）」公布	
2005年 (平成17年)	3月 規制改革・民間開放推進3か年計画（改定）閣議決定 4月 「消費者基本計画」閣議決定 4月 「個人情報保護に関する法律」施行（個人情報取扱事業者の義務規定） 4月 「独占禁止法」改正 4月 「携帯電話不正利用防止法」公布 5月 「保険業法」改正 5月 「特定電子メール法」改正 6月 国生審消費者政策部会消費者団体訴訟制度検討委員会報告公表 6月 「食育基本法」公布 6月 金融庁に金融サービス利用者相談室設置 7月 「JAS法」改正 8月 「偽造カード等及び盗難カード等を用いて行われる不正な機械式預貯金払戻し等からの預貯金者の保護等に関する法律（預貯金者保護法）」公布	2月 京都議定書発効（温室効果ガス6%削減目標） 5月 高齢者を狙った悪質リフォーム工事被害が社会問題化 11月 耐震偽装問題 11月 第44回全国消費者大会開催 ・この頃、多重債務問題の深刻化 ・この頃、生命保険、損害保険各社の保険金不払問題
2006年 (平成18年)	6月 「消費者契約法」改正（消費者団体訴訟制度導入） 6月 「証券取引法等の一部を改正する法律」、「証券取引法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」公布（「証券取引法」を「金融商品取引法」に改称） 7月 「犯罪被害財産等による被害回復給付金の支給に関する法律」公布（被害回復給付金支給制度開始） 7月 消費者政策会議、「消費者基本計画」の検証・評価・監視の取りまとめ 12月 「消費生活用製品安全法」改正 12月 「貸金業法（貸金業等の規制に関する法律から改称）」、「出資法」、「利息制限法」改正	3月 シュレッダーによる幼児の指切断事故 6月 シンドラー社エレベーター事故 6月 「消防法」改正（住宅用火災報知機等の設置義務付け） 10月 「法テラス（日本司法支援センター）」、相談対応開始 11月 第45回全国消費者大会開催 ・この頃、パロマ工業社製のガス瞬間湯沸器の一酸化炭素中毒死亡事故問題の顕在化学納金返還訴訟最高裁判決 ・この頃、いわゆる「ロコ・ロンドン取引」の被害表面化
2007年 (平成19年)	5月 「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律（住宅瑕疵担保履行法）」公布 7月 消費者政策会議、「消費者基本計画」の検証・評価・監視の取りまとめ 10月 国民生活センター、こんにやく入りゼリーの窒息による死亡事故情報を公表 11月 「消費生活用製品安全法」改正 11月 「電気用品安全法」改正 12月 「犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律（振り込め詐欺救済法）」公布	6月 NOVA事件 10月 郵政民営化 10月 L&G(円天)事件 11月 第46回全国消費者大会開催 ・この頃、ミートホープ事件等の食品偽装表示事件の発覚
2008年 (平成20年)	1月 福田首相、施政方針演説で「消費者庁」を創設する方針を表明	1月 中国冷凍ギョウザ問題 4月 後期高齢者医療制度開始

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2008年 (平成20年)	2月 第1回消費者行政推進会議 3月 文科省、小学校、中学校の学習指導要領改訂（消費者教育の充実） 5月 「消費者契約法等の一部を改正する法律」公布（特商法・景品表示法へ差止請求の対象拡大） 5月 「国民生活センター法」改正（国民生活センターに紛争解決委員会設置） 6月 「保険法」公布 6月 「特定電子メール法」改正 6月 「特定商取引法」、「割賦販売法」改正（指定商品・役務制の廃止、訪問販売・クレジット取引・インターネット取引に関する規制強化等） 6月 消費者行政推進基本計画閣議決定 7月 消費者政策会議、「消費者基本計画」の検証・評価・監視の取りまとめ	9月 リーマン・ブラザーズ破綻 9月 事故米穀不正規流通問題 11月 第47回全国消費者大会開催 11月 「日本消費者法学会」設立 ・この頃、ゼロゼロ物件トラブル増加
2009年 (平成21年)	1月 平成20年度第2次補正予算成立。地方消費者行政活性化基金創設 3月 文科省、高等学校の学習指導要領改訂（消費者教育の充実） 4月 「JAS法」改正 4月 「米トレーサビリティ法」公布 4月 国民生活センター裁判外紛争解決手続（ADR）開始 4月 警察庁に生活経済対策管理官設置 6月 「消費者庁関連3法（消費者庁及び消費者委員会設置法、消費者庁及び消費者委員会設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律、消費者安全法）」公布 6月 「資金決済に関する法律」公布（「前払い式証票の規制等に関する法律」廃止） 6月 「独占禁止法」改正 7月 「商品取引所法」改正（「商品先物取引法」に改称） 9月 内閣府に消費者庁及び消費者委員会設置	2月 商工ローン業者「SFCG(旧商工ファンド)」、民事再生法の適用を申請 9月 花王、「エコナ関連製品」製造・販売中止 11月 第48回全国消費者大会開催 ・この頃、新型インフルエンザの流行 ・この頃、劇場型勧誘による被害多発
2010年 (平成22年)	1月 「消費者ホットライン」全国で運用開始 2月 「地方消費者行政の充実・強化のためのプラン」策定 3月 第2期「消費者基本計画」閣議決定 3月 「消費者安全の確保に関する基本的な方針」内閣総理大臣決定 6月 「貸金業法」、「出資法」、「利息制限法」完全施行 8月 消費者委員会初の建議 11月 「放送法」改正 11月 「消費生活用製品安全法施行令」改正（いわゆる使い捨てライターを追加指定）	4月 口蹄疫の発生 5月 パロマ工業社製ガス瞬間湯沸器による一酸化炭素中毒による死傷事故で、東京地裁が前社長に有罪判決 ・この頃、外国通貨購入の被害が増加 ・この頃、クレジットカード現金化問題 9月 貴金属等の訪問買取り被害多発 9月 消費者金融業者最大手「武富士」経営破綻 11月 第49回全国消費者大会開催 11月 こんにゃく入りゼリー、製品に欠陥なし判決
2011年 (平成23年)	2月 トランス脂肪酸表示の指針をまとめる 3月 国民生活センター、「震災関連悪質商法110番」を被災4県対象に実施（120日間） 4月 「高齢者の居住の安定確保に関する法律」改正 6月 「老人福祉法」改正（有料老人ホーム利用者保護、後見等の体制整備） 7月 「消費者基本計画」一部改定	1月 グループオンの販売したおせち料理に苦情が相次ぐ 3月 東日本大震災 原発事故発生 ・この頃、震災に便乗した商法続発 ・この頃、放射性物質に対する不安広がる 4月 生食用牛肉で集団食中毒発生 ・この頃、小麦加水分解物を含有する「茶のしずく石鹸」によるアレルギー発覚

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2011年 (平成23年)	10月 国交省、「宅地建物取引業法施行規則」改正（悪質勧誘禁止） 11月 消費者庁に越境消費者センター開設 11月 海外留学に仲介業者の認定制度「留学サービス審査機構」設立	7月 決済代行業者登録制度（任意）開始 7月 地上デジタル放送完全移行（一部を除く） ・この頃、不適切な発行・勧誘行為による医療機関債トラブル発生 ・この頃、安愚楽牧場事件（5月民事再生法の適用申請、11月破産手続へ） 9月 PSCマークのない使い捨てライター販売禁止 12月 第50回全国消費者大会開催 ・この頃、スマートフォンのトラブル急増
2012年 (平成24年)	7月 「地方消費者行政の充実・強化のための指針」策定 8月 「食品表示一元化検討会」報告書公表 8月 「特定商取引法」改正（訪問購入の追加） 8月 「消費者教育推進法」公布 8月 「消費者基本法」改正 8月 「消費者安全法」改正（消費者安全調査委員会の設置、消費者の財産被害に係るすき間事案への行政措置の導入） 9月 「金融商品取引法」改正 10月 消費者庁に消費者安全調査委員会発足 12月 「消費者団体訴訟制度ダイヤル」開設	5月 ・この頃、サクラサイト商法の被害拡大「コンプガチャ」問題（景品表示法違反の見解） ・この頃、劇場型投資被害増大 ・この頃、被害を取り戻すという名目による「二次被害」増加 ・この頃、健康食品の送り付け商法多発
2013年 (平成25年)	6月 「食品表示法」公布、「食品衛生法」、「JAS法」、「健康増進法」、「消費者契約法」（食品表示法へ差止請求の対象拡大）改正 6月 「消費税転嫁対策特別措置法」公布 6月 「平成25年版消費者白書（消費者政策の実施の状況に関する報告書）」公表（消費者庁初の法定白書） 12月 「消費者裁判手続特例法」公布	1月 第51回全国消費者大会開催 7月 カネボウ化粧品、美白化粧品による白斑トラブル発覚 10月 ホテル、百貨店、レストラン等における食品表示等の不正事案多発 12月 アクリフーズ、冷凍食品の農薬混入事案発覚
2014年 (平成26年)	3月 「メニュー・料理等の食品表示に係る景品表示法上の考え方について」公表 6月 「景品表示法」、「消費者安全法」改正 6月 消費者安全調査委員会、「幼稚園で発生したプール事故」の報告書を公表（2014年には他に2件の事案について報告書公表） 11月 「景品表示法」改正（課徴金制度導入）	3月 第52回全国消費者大会開催 4月 消費税率5%から8%に引上げ 7月 中国の工場における使用期限切れ鶏肉加工食品問題が発覚 7月 ベネッセコーポレーション、個人情報流出が発覚 ・この頃、遠隔操作によるプロバイダー変更勧誘トラブルが急増 ・この頃、海外事業者とのバイナリーオプション取引に関するトラブルが急増 12月 ファストフード店等での異物混入報道
2015年 (平成27年)	3月 第3期「消費者基本計画」閣議決定 3月 「地方消費者行政強化作戦」策定 3月 全国全ての市区町村に消費生活相談窓口設置 4月 「食品表示法」改正及び「食品表示基準」施行 4月 越境消費者センターの運営を消費者庁から国民生活センターへ移管 6月 消費者安全調査委員会、「エスカレーター事故」の報告書公表（2015年には他に2件の事案について報告書公表） 7月 消費者ホットライン3桁化「188（いやや!）」	3月 第53回全国消費者大会開催 5月 日本年金機構が保有する個人情報流出する事件発生 ・この頃、個人情報削除を持ち掛ける詐欺に関する相談が急増 ・この頃、光回線サービスの卸売に関する相談が急増 10月 分譲マンションの基礎杭打ちデータ改ざんが発覚 ・この頃、マイナンバーが通知され始め、関連の相談が急増

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2015年 (平成27年)	9月 「個人情報保護に関する法律」及び「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」改正 11月 「総合的なTPP関連政策大綱」決定	
2016年 (平成28年)	4月 「景品表示法」に課徴金制度導入（2014年11月改正法の施行） 5月 「特定商取引法」、「消費者契約法」改正 6月 「子供の事故防止に関する関係府省庁連絡会議」設置 8月 消費者安全調査委員会、「エレベーターの戸開走行事故」の報告書公表（2016年には他に1件の事案について報告書公表） 10月 「消費者裁判手続特例法」施行 12月 第1回消費生活相談員資格試験実施 12月 衣類等の「洗濯表示」の変更	1月 軽井沢スキーバス事故発生 3月 第54回全国消費者大会開催 4月 電力小売全面自由化 4月 平成28年熊本地震発生 ・この頃、通信販売で健康食品等を「1回だけ」のつもりで購入したところ定期購入契約をしたことになっていたとの相談が急増 9月 特定保健用食品に、許可時の関与成分が規定量含まれていない等の重大な違反事案が発生、一部製品の許可取消し
2017年 (平成29年)	6月 「国民生活センター法」等の改正（特定適格消費者団体の被害回復裁判手続において、国民生活センターが仮差押えのための立担保を可能とする） 7月 消費者庁、国民生活センター、「消費者行政新未来創造オフィス」を開設 9月 「食品表示基準」の改正により、全ての加工食品を対象とした原料原産地表示制度開始 11月 消費者安全調査委員会、「玩具による乳幼児の気道閉塞事故」の報告書公表（2017年には他に2件の事案について報告書公表） 12月 消費者庁、ジャパンライフに2016年12月、2017年3月、11月に続き4回目の行政処分	3月 第55回全国消費者大会開催 3月 格安旅行会社「てるみくらぶ」、破産手続開始決定 4月 グロワール・ブリエ東京（脱毛サロン エターナル・ラビリンスを展開）、破産手続開始決定 4月 ガス小売全面自由化 ・この頃、法務省等をかたる架空請求のはがきに関する相談が急増 ・この頃、大手企業による品質データの改ざん等の不祥事が多発
2018年 (平成30年)	2月 「若年者への消費者教育の推進に関するアクションプログラム」決定 3月 「地方消費者行政強化交付金」創設 6月 「消費者契約法」改正 6月 「民法」改正（成年年齢を20歳から18歳に引き下げるなど） 7月 消費者ホットライン188イメージキャラクター「イヤヤン」を発表 7月 「ギャンブル等依存症対策基本法」公布 7月 国民生活センター、「平成30年7月豪雨消費者トラブル110番」開設 7月 「架空請求対策パッケージ」消費者政策会議決定 8月 特別用途食品における乳児用液体ミルクの許可基準策定 9月 消費者安全調査委員会、「電動シャッター動作時の事故」の報告書公表 11月 第1回消費者志向経営優良事例表彰式 12月 国民生活センター、「訪日観光客消費者ホットライン」を開設 12月 「食品表示法」改正 12月 「チケット不正転売禁止法」公布	1月 振袖の販売・レンタル業者「はれのひ」突然の営業停止によるトラブル発生 1月 コインチェックによる仮想通貨流出事件発生 3月 ジャパンライフ、破産手続開始決定 3月 第56回全国消費者大会開催 5月 スマートデイズ（シェアハウスのサブリース業を展開）、破産手続開始決定 6月 大阪府北部を震源とする地震発生 7月 平成30年7月豪雨発生 9月 平成30年台風21号、平成30年北海道胆振東部地震発生 ・この頃、大規模自然災害が頻発し、災害に関連した相談が増加 9月 ケフィア事業振興会、破産手続開始決定 9月 豚コレラ（2020年2月、豚熱に改称）の発生 ・架空請求に関する相談が前年に引き続き増加 12月 消費者裁判手続特例法に基づく特定適格消費者団体による初の提訴
2019年 (令和元年)	1月 消費者安全調査委員会、「住宅用太陽光発電システムから発生した火災事故等」の報告書公表（2019年にはほかに1件の事案について報告書公表）	2月 豚熱の感染拡大

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2019年 (令和元年)	4月 「食品表示基準」の遺伝子組換えに関する任意表示制度について改正（施行：2023年4月） 5月 「プラスチック資源循環戦略」を策定 5月 「電気通信事業法」改正（携帯電話の通信料金と端末代金の完全分離等） 5月 5月18日を「消費者ホットライン188（いややの日）」として記念日制定 5月 「食品ロス削減推進法」公布 7月 消費者庁、WILL株式会社及びWILL株式会社の関連法人7社に対し行政処分 7月 「食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針」改定 8月 新たな恒常的拠点として徳島に「新未来創造戦略本部」設置を発表 9月 消費者庁及び消費者委員会設置10年 9月 G20消費者政策国際会合を徳島で開催 11月 国民生活センター、「令和元年秋台風関連消費者ホットライン」を開設	3月 第57回全国消費者大会開催 ・この頃、インターネットにおけるチケット転売に関する相談が2018年に比べ5倍以上に増加（9月：ラグビーワールドカップ2019） 7月 かんぽ生命の不適切販売が社会問題化 8月 東京都練馬区の遊園地「としまえん」の水上エア遊具にて女児の死亡事故が発生 8月 令和元年台風第10号 9月 令和元年房総半島台風 10月 消費税率8%から10%に引上げ 10月 令和元年東日本台風 ・この頃、自然災害に関連した相談が増加
2020年 (令和2年)	3月 「国民生活安定緊急措置法施行令の一部を改正する政令」を閣議決定（マスクの転売規制、2020年にはほかにアルコール消毒製品の転売を5月から規制） 3月 消費者庁、新型コロナウイルスに対する予防効果を標ぼうする商品の表示の緊急監視、改善要請（2020年以降も継続的に監視、改善要請、行政指導等を実施） 3月 第4期「消費者基本計画」閣議決定 3月 「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」閣議決定 4月 改正「民法」施行（契約に関わる総則・債権を中心に改正） 4月 「地方消費者行政強化作戦2020」策定 5月 国民生活センター、「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」を開設（7月から「給付金・豪雨関連消費者ホットライン」） 6月 「公益通報者保護法」改正 6月 消費者安全調査委員会、「水上設置遊具による溺水事故」の報告書公表（2020年にはほかに1件の事案について報告書公表） 7月 消費者庁新未来創造戦略本部開設 8月 マスク及びアルコール消毒製品の転売規制を解除 10月 国民生活センター創立50周年	1月 新型コロナウイルス感染症、国内初の感染確認 3月 小・中学校、高等学校及び特別支援学校等における一斉臨時休校 3月 第58回全国消費者大会中止 4月 「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」として、「特別定額給付金」制度、「持続化給付金」制度の創設が盛り込まれる 4月 新型コロナウイルス感染症対策本部が緊急事態を宣言 ・この頃、新型コロナウイルス感染症に関連した相談が増加 5月 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が、「3つの密」を避ける等の「新しい生活様式」を提言 5月 緊急事態宣言を解除 7月 旅行需要の喚起策「Go To トラベル事業」開始 7月 令和2年7月豪雨
2021年 (令和3年)	2月 消費者庁、新型コロナワクチン詐欺等の便乗悪質商法に注意喚起 3月 国民生活センター、「新型コロナワクチン詐欺 消費者ホットライン」開設 3月 4省庁連携による「成年年齢下げに伴う消費者教育全力」キャンペーン 4月 「取引DPF消費者保護法」成立 6月 「特定商取引法」改正（詐欺的な定期購入商法への対策強化、送り付け商法対策、契約書面等の電子化）	1月 新型コロナウイルス感染症対策本部が緊急事態を宣言 2月 福島県沖地震（2021年） 3月 東日本大震災10年 3月 第59回全国消費者大会開催（オンライン） 3月 緊急事態宣言解除 4月 新型コロナウイルス感染症対策本部が緊急事態を宣言 7月 熱海市伊豆山土石流災害 7月 東京オリンピック開幕

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2021年 (令和3年)	6月 「預託法」改正（「預託等取引に関する法律」と改称、販売預託の原則禁止） 6月 消費者安全調査委員会、「自動ドアによる事故」の報告書公表 7月 改正「特定商取引法」一部施行（送り付け商法対策）	8月 東京パラリンピック開幕 9月 緊急事態宣言解除 11月 新型コロナウイルスオミクロン株国内初確認 11月 COP26で石炭火力半減を採択
2022年 (令和4年)	3月 消費者安全調査委員会、「ネオジム磁石製のマグネットセットによる子どもの誤飲事故」の報告書公表 4月 改正「民法」施行（成年年齢が18歳に引下げ） 4月 消費者庁、「便乗値上げ情報 消費者受付ウェブ窓口」開設 5月 「取引IDPF消費者保護法」施行 5月 「消費者契約法」改正（契約の取消権を追加等） 5月 「消費者裁判手続特例法」改正（慰謝料を対象範囲へ追加、支援法人制度の導入等） 6月 改正「公益通報者保護法」施行 6月 改正「特定商取引法」一部施行（詐欺的な定期購入商法対策） 6月 改正「預託法」一部施行（販売預託の原則禁止） 8月 「『旧統一教会』問題関係省庁連絡会議」設置 12月 「消費者契約法」改正（霊感等による知見を用いた告知による不当勧誘行為に対する取消権の範囲の拡大等） 12月 「国民生活センター法」改正（重要消費者紛争についての裁判外紛争解決手続（ADR）の迅速化等） 12月 「不当寄附勧誘防止法」成立	2月 ロシアによるウクライナ侵略 ・この頃、世界的な物価高騰 3月 第60回全国消費者大会開催（オンライン） 3月 福島県沖地震（2022年） 3月 初の電力需給ひっ迫警報発令 4月 知床遊覧船沈没事故

消費者行政担当部局

2023年6月1日

	中央省庁等	部局・課室名	所在地		電話番号
1	消費者庁	総務課 消費者政策課 消費者制度課 消費者教育推進課 地方協力課 消費者安全課 取引対策課 表示対策課 食品表示企画課 参事官（調査研究・国際担当） 参事官（公益通報・協働担当）	〒100-8958	千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎第4号館	03-3507-8800
2	内閣官房	副長官補室	〒100-8968	千代田区永田町1-6-1	03-5253-2111
3	内閣府	大臣官房企画調整課	〒100-8914	千代田区永田町1-6-1	03-5253-2111
		消費者委員会事務局	〒100-8970	千代田区霞が関3-1-1	03-5253-2111
		食品安全委員会事務局総務課	〒107-6122	港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル22階	03-6234-1075
4	公正取引委員会	事務総局経済取引局総務課	〒100-8987	千代田区霞が関1-1-1	03-3581-5471
5	警察庁	生活安全局生活経済対策管理官	〒100-8974	千代田区霞が関2-1-2	03-3581-0141
6	金融庁	総合政策局総務課	〒100-8967	千代田区霞が関3-2-1	03-3506-6000
7	こども家庭庁	成育局総務課	〒100-6090	千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング20階、 21階、22階	03-6863-0383
8	デジタル庁	戦略・組織グループ参事官室（総務担当）	〒102-0094	千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井 町19階、20階	03-4477-6775
9	復興庁		〒100-0013	千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎第4号館	03-6328-1111
10	総務省	大臣官房企画課	〒100-8926	千代田区霞が関2-1-2	03-5253-5111
11	法務省	大臣官房秘書課	〒100-8977	千代田区霞が関1-1-1	03-3580-4111
12	外務省	経済局政策課	〒100-8919	千代田区霞が関2-2-1	03-5501-8000
13	財務省	大臣官房総合政策課	〒100-8940	千代田区霞が関3-1-1	03-3581-4111
14	文部科学省	総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課	〒100-8959	千代田区霞が関3-2-2	03-5253-4111
15	厚生労働省	政策統括官政策統括室	〒100-8916	千代田区霞が関1-2-2	03-5253-1111
16	農林水産省	消費・安全局消費者行政・食育課	〒100-8950	千代田区霞が関1-2-1	03-3502-8111
17	経済産業省	商務・サービスグループ商取引監督課	〒100-8901	千代田区霞が関1-3-1	03-3501-1511
18	国土交通省	総合政策局バリアフリー政策課	〒100-8918	千代田区霞が関2-1-3	03-5253-8111
19	環境省	大臣官房総合政策課	〒100-8975	千代田区霞が関1-2-2	03-3581-3351
20	防衛省	大臣官房文書課	〒162-8801	新宿区市谷本村町5-1	03-5229-2141
21	人事院	人材局研修推進課	〒100-8913	千代田区霞が関1-2-3	03-3581-5311

参考資料

消費者行政担当部局

都道府県

	都道府県	部局・課室名	所在地		電話番号
1	北海道	環境生活部くらし安全局 消費者安全課	〒060-8588	札幌市中央区北3条西6丁目	011-231-4111
2	青森県	環境生活部 県民生活文化課	〒030-8570	青森市長島1-1-1	017-734-9206
3	岩手県	環境生活部 県民くらしの安全課 消費生活担当	〒020-0021	盛岡市中央通3-10-2	019-624-2586
4	宮城県	環境生活部 消費生活・文化課	〒980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022-211-2523
5	秋田県	生活環境部 県民生活課	〒010-8570	秋田市山王4-1-1	018-860-1517
6	山形県	防災くらし安心部 消費生活・地域安全課	〒990-8570	山形市松波2-8-1	023-630-3306
7	福島県	生活環境部 消費生活課	〒960-8043	福島市中町8-2 自治会館1階	024-521-7736
8	茨城県	県民生活環境部 生活文化課	〒310-8555	水戸市笠原町978-6	029-301-2829
9	栃木県	生活文化スポーツ部 くらし安全安心課	〒320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2135
10	群馬県	生活こども部 消費生活課	〒371-8570	前橋市大手町1-1-1	027-226-2274
11	埼玉県	県民生活部 消費生活課	〒330-9301	さいたま市浦和区高砂3-15-1	048-830-2935
12	千葉県	環境生活部 くらし安全推進課	〒260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043-223-2296
13	東京都	生活文化スポーツ局消費生活部 企画調整課	〒163-8001	新宿区西新宿2-8-1	03-5388-3053
14	神奈川県	くらし安全防災局 くらし安全部 消費生活課	〒221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター6階	045-312-1121
15	新潟県	総務部 県民生活課 消費とくらしの安全推進班	〒950-8570	新潟市中央区新光町4-1	025-280-5135
16	富山県	生活環境文化部 県民生活課	〒930-8501	富山市新総曲輪1-7	076-444-3129
17	石川県	生活環境部 生活安全課 消費生活グループ	〒920-8580	金沢市鞍月1-1	076-225-1386
18	福井県	防災安全部 県民安全課 消費・生活グループ	〒910-8580	福井市大手3-17-1	0776-20-0287
19	山梨県	県民生活部 県民生活安全課	〒400-8501	甲府市丸の内1-6-1	055-223-1352
20	長野県	県民文化部 くらし安全・消費生活課	〒380-8570	長野市大字南長野字幅下692-2	026-235-7151
21	岐阜県	環境生活部 県民生活課	〒500-8570	岐阜市藪田南2-1-1	058-272-8204
22	静岡県	くらし・環境部 県民生活局 県民生活課	〒420-8601	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2257
23	愛知県	県民文化局 県民生活部 県民生活課	〒460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052-954-6163
24	三重県	環境生活部 くらし・交通安全課	〒514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059-224-2400
25	滋賀県	総合企画部 県民活動生活課	〒520-8577	大津市京町4-1-1	077-528-3412

	都道府県	部局・課室名	所在地		電話番号
26	京都府	文化生活部 消費生活安全センター	〒601-8047	京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館 2 階	075-671-0030
27	大阪府	府民文化部 消費生活センター	〒559-0034	大阪市住之江区南港北2-1-10 アジア太平洋トレードセンター ITM棟 3 階	06-6612-7500
28	兵庫県	県民生活部 県民躍動課	〒650-8567	神戸市中央区下山手通5-10-1	078-362-3376
29	奈良県	文化・教育・くらし創造部 消費・生活安全課	〒630-8501	奈良市登大路町30番地	0742-27-8704
30	和歌山県	環境生活部 県民局 県民生活課	〒640-8585	和歌山市小松原通1-1	073-441-2342
31	鳥取県	生活環境部くらしの安心局 消費生活センター	〒683-0043	米子市末広町294 米子コンベンションセンター 4 階	0859-34-2765
32	島根県	環境生活部環境生活総務課 消費とくらしの安全室	〒690-0887	松江市殿町8-3 島根県市町村振興センター 5 階	0852-22-5103
33	岡山県	県民生活部 くらし安全安心課	〒700-8570	岡山市北区内山下2-4-6	086-226-7346
34	広島県	環境県民局 消費生活課	〒730-8511	広島市中区基町10-52	082-513-2730
35	山口県	環境生活部 県民生活課消費生活センター	〒753-8501	山口市滝町1-1	083-933-2608
36	徳島県	危機管理環境部 消費者くらし安全局 消費者政策課	〒770-8570	徳島市万代町1-1	088-621-2692
37	香川県	危機管理総局 くらし安全安心課	〒760-8570	高松市番町4-1-10	087-832-3172
38	愛媛県	県民環境部 県民生活局 県民生活課 消費・くらし安全安心グループ	〒790-8570	松山市一番町4-4-2	089-912-2336
39	高知県	文化生活スポーツ部 県民生活課	〒780-8570	高知市丸ノ内1-2-20	088-823-9653
40	福岡県	人づくり・県民生活部 生活安全課	〒812-8577	福岡市博多区東公園7-7	092-643-3193
41	佐賀県	県民環境部 くらしの安全安心課	〒840-0815	佐賀市天神三丁目2-11（アバンセ3階）	0952-25-7059
42	長崎県	県民生活環境部 食品安全・消費生活課	〒850-8570	長崎市尾上町3-1	095-895-2318
43	熊本県	環境生活部 県民生活局消費生活課	〒862-8570	熊本市中央区水前寺6-18-1	096-333-2309
44	大分県	生活環境部 県民生活・男女共同参画課	〒870-0037	大分市東春日町1-1 NS大分ビル内	097-534-2038
45	宮崎県	総合政策部 生活・協働・男女参画課	〒880-8501	宮崎市橘通東2-10-1	0985-26-7054
46	鹿児島県	総務部男女共同参画局 くらし共生協働課 消費者行政推進室	〒890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099-286-2521
47	沖縄県	子ども生活福祉部 消費・くらし安全課	〒900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098-866-2187

政令指定都市

	政令指定都市	部局・課室名		所在地	電話番号
1	札幌市	市民文化局 市民生活部 消費生活課	〒060-8612	札幌市北区北1条西2丁目	011-211-2245
2	仙台市	市民局 生活安全安心部 消費生活センター	〒980-8555	仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル（三越定禅寺通り館） 5階	022-268-7040
3	さいたま市	市民局 市民生活部 消費生活総合センター	〒330-0853	さいたま市大宮区錦町682-2 JACK大宮6階	048-645-3002
4	千葉市	市民局 生活文化スポーツ部 消費生活センター	〒260-0045	千葉市中央区弁天1-25-1	043-207-3601
5	川崎市	経済労働局 産業政策部 消費者行政センター	〒210-0007	川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル10階	044-200-2262
6	横浜市	経済局 市民経済労働部 消費経済課	〒231-0005	横浜市中区本町6丁目50番地の10	045-671-2584
7	相模原市	市民局 消費生活総合センター	〒252-0143	相模原市緑区橋本6-2-1 シティ・プラザはしもと内	042-775-1779
8	新潟市	市民生活部 市民生活課 消費生活センター	〒951-8507	新潟市中央区西堀南通6番町 894番地1 西堀ローサ内	025-228-8102
9	静岡市	市民局 生活安全安心課 消費生活センター	〒420-8602	静岡市葵区追手町5-1	054-221-1054
10	浜松市	市民部 市民生活課 暮らしのセンター	〒432-8032	浜松市中区海老塚町51-1	053-457-2635
11	名古屋市	スポーツ市民局 市民生活部 消費生活課	〒460-0008	名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ11階	052-222-9679
12	京都市	文化市民局 暮らし安全推進部 消費生活総合センター	〒604-8588	京都市中京区西堀川通御池下 る西三坊堀川町521 中京区総合庁舎3階	075-366-2250
13	大阪市	市民局 消費者センター	〒559-0034	大阪市住之江区南港北2-1-10 アジア太平洋トレードセンター ITM棟3階	06-6614-7521
14	堺市	市民人権局 市民生活部 消費生活センター	〒590-0076	堺市堺区北瓦町2-4-16 堺富士ビル6階	072-221-7908
15	神戸市	地域協働局 消費生活センター	〒650-0016	神戸市中央区橘通3-4-1	078-371-1137
16	岡山市	市民生活局 市民生活部生活安全課 消費生活センター	〒700-8544	岡山市北区大供1-1-1	086-803-1105
17	広島市	市民局 消費生活センター	〒730-0011	広島市中区基町6-27 アクア広島センター街8階	082-225-3329
18	北九州市	市民文化スポーツ局 安全・安心 推進部 消費生活センター	〒804-0067	北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた7階	093-871-0428
19	福岡市	市民局 生活安全部 消費生活センター	〒810-0073	福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれ心7階	092-712-2929
20	熊本市	文化市民局 市民生活部 生活安全課 消費者センター	〒860-8601	熊本市中央区手取本町1番1号 熊本市役所別館（駐輪場）5階	096-353-5757